

2025

Surface Pro 10

セットアップマニュアル

このPCは大学生協オリジナルモデルです。
本セットアップマニュアルは大学生協が発行しております。



本マニュアルはWindows 11 23H2 のバージョン
にて検証および作成されております。



お使いのOSバージョンによっては一部表示が
異なる可能性がございます。

ID・Password 記入欄



大切だから忘れず、記入



| | |
|-----------------------|--|
| ローカルアカウント パスワード | |
| PIN | |
| Office アカウント ID | |
| Office アカウント パスワード | |
| Microsoft アカウント ID | |
| Microsoft アカウント パスワード | |
| ウイルスバスター 登録メール | |

INDEX

| | |
|---|------------|
| パソコンを正しく快適に使うために気をつけよう！ | …04 |
| セットアップに必要なもの | …05 |
| 本体使用準備・各部名称 | …06 |
| セットアップの注意点 | …07 |
| タッチパッド操作 | …08 |
| 文字入力 | …09 |
| 初期設定 | …10 |
| ネットワークへの接続方法 | …20 |
| <u>デバイスの暗号化(BitLocker) *必ずお読みください*</u> | …21 |
| Windows 11 の主な操作方法について | …33 |
| ログインパスワードの変更(設定)方法 | …37 |
| Windows Update | …39 |
| Windows Update 更新中の注意 | …40 |
| Windows Update 一時停止 | …41 |
| Microsoft Edge について | …42 |
| Microsoft Edge の設定 | …44 |
| Microsoft365 のライセンス認証 | …46 |
| Microsoft365 更新プログラム適用について | …48 |
| USB メモリの接続 | …49 |
| 【活用編】バックアップの必要性 | …50 |
| 用語集(50 音順) | …51 |
| Surface を活用するために | …54 |
| Surface Slim Pen2のペアリング | …55 |
| Microsoft Store | …56 |
| Windows Hello の設定 | …57 |
| OneDrive の設定 | …59 |
| 電源OFF | …63 |



振動衝撃に注意

パソコンは衝撃や振動に弱いものです。
持ち運び時にはケースに入れるようにしましょう。
ケースに入っていても自転車のカゴに入れるのは禁物です。
振動でハードディスクやボディが壊れる恐れがあります。
また、満員電車の圧力で破損した例もあります。
机からの落下も破損の原因になりますので注意しましょう。



置き忘れ、盗難に注意

学内や電車の網棚、飲食店などへのパソコンの置き忘れが毎年発生しています。ちょっとトイレに行った際に…というケースもあります。
パソコンは高価な商品ですが、それ以上に個人情報などの大切なデータがたくさん詰まっています。
コンパクトで持ち去られやすいので、盗難などにも注意しましょう。



飲み物に注意

パソコンは電子機器なので、水にとても弱いものです。
部屋の中やカフェなどでうっかり飲み物をこぼしてしまうケースが意外に多いです。
パソコンの操作中は出来るだけ近くに飲み物を置かないようにしましょう。
また、ちょっとした水滴から守るために、キーボードカバーを使うという方法もあります。



液晶画面の取り扱いに注意

液晶画面はガラスです。衝撃や強い圧力で破損します。
例えば、PC本体をぶつける、画面を指で力強く押す、キーボードの上にUSBメモリやペンなどを置いた状態でフタを閉じる、PCの液晶ディスプレイ側を持って本体を持ち上げるなどの取り扱いを行うと液晶画面パネルが破損します。
掃除の際にも柔らかい布やクリーナーでやさしく拭き取るようにしましょう。

※破損、水濡れ等はメーカー保証期間内でも有償修理になります。

セットアップに必要なもの



Surface Pro10 本体

ペンやタッチで操作できる2in1PCです。
キックスタンドで自立し、角度調節も自在です。

Surface Pro Signature キーボード

マグネット部分をカチッと音がするまで差し込み、
キーボードを接続すると、ノートPCとして使用でき
ます。また、持ち運ぶ際はスクリーンを保護する
役割があります。

Surface スリム ペン 2

Surface スリム ペン 2 では、紙に書くのと同じよ
うに手書き入力ができます。
ペンを使用しない時は、キーボードの窪みに収納
しておきます。

AC アダプタ

Surface の充電器です。
長時間の作業の際に利用します。

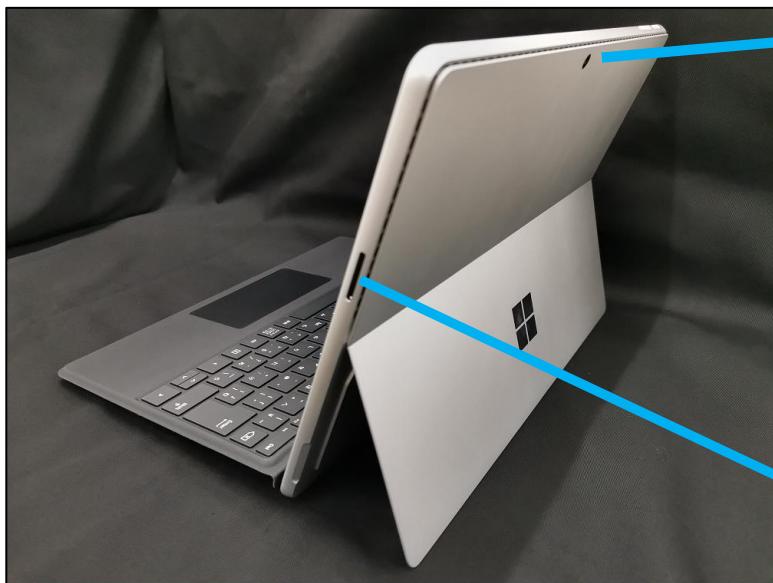


キーボードの接続

キーボードの接続端子はマグネットになっており、本体に近づけると、正しい位置にカチッと音がして接続されます。また、取り外すときは、そのまま引き抜いてとります。

キーボードの角度調節

キーボードは、本体の接続部付近を折り返すことで、キーボードに角度をつけることができます。



カメラ

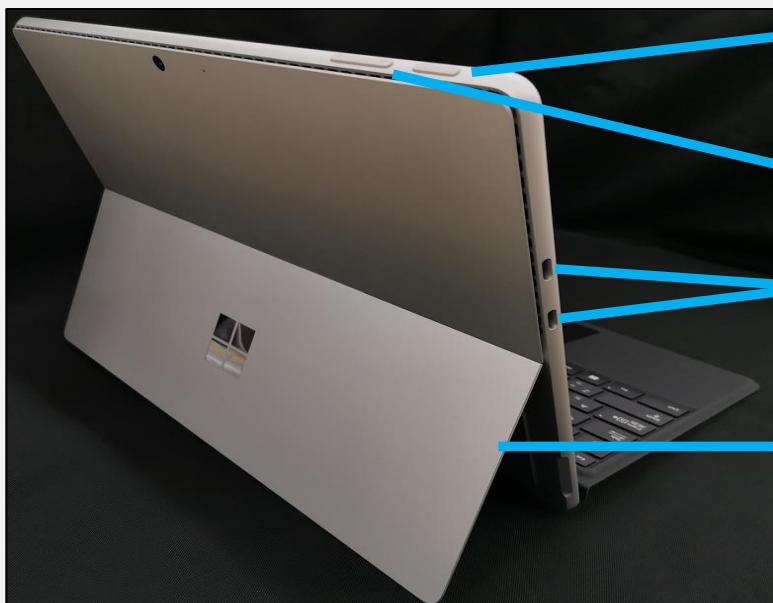
本体正面に

- ・フル HD フロント Surface Studio カメラ
- ・超広角 1440p クアッド HD カメラ
- ・顔認証カメラ

本体裏面に

- ・10.5 MP Ultra HD リア カメラが搭載されています。

充電端子(Surface Connect)
ACアダプターを接続します。



電源ボタン

電源ON・スリープといった操作ができます。

音量ボタン

+-ボタンでは、音量調節も可能です。

USB-C ポート

USB-C を使用した外部機器への接続に利用します。

キックスタンド

調節式の内蔵キックスタンドで自分好みの視野角を実現。

タッチパッド



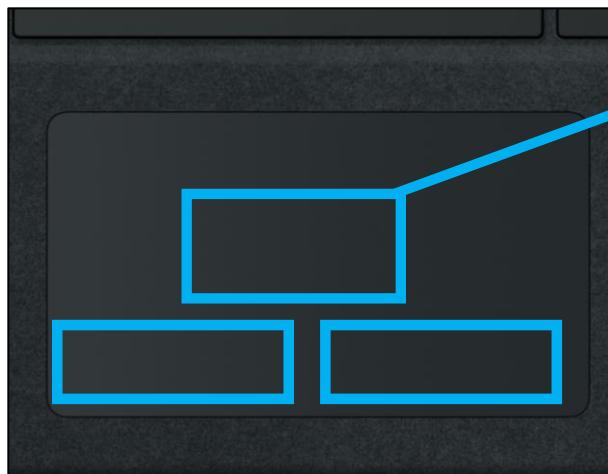
- ・パソコンを起動し、一定時間操作を行っていないと「省エネ」の為、液晶画面を自動的にOFFにする（スクリーンセイバーなどの）動作を行います
- ・セットアップ中に画面が暗くなったときはタッチパッドに触れると画面が戻ります

タッチパッドに触れても復帰しない場合

タッチパッドに触れても画面が戻らない場合はスリープモードという状態になっています。その場合は、電源ボタンを操作すると画面が元に戻ります。覚えておいてください。

※異常状態が長く続くとき(10分以上)は電話サポートにお問い合わせください。

ノートパソコンのタッチパッドを簡単に説明します。
タッチパッドが初めての方は一読しておいてください



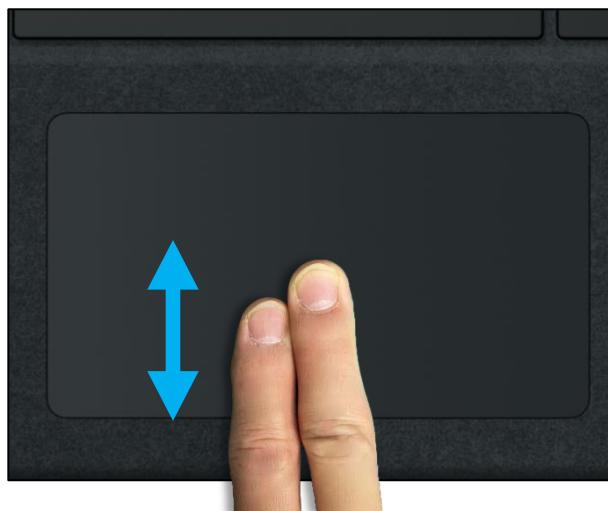
タッチエリア

タッチエリアに指1本を当てて動かすと画面上のマウスカーソルを動かすことができます。



マウスカーソル

基本操作としてはマウスカーソルを動かして画面上のアイコンや文字、リンクに合わせ、左クリックボタンでクリックやダブルクリックをします。



最近の機種は（本機も）左図のように指2本で上下に動かすと画面スクロールができます。

クリックの種類

・クリック

⇒左クリックボタンを1回押すこと

・右クリック

⇒右クリックボタンを1回押すこと

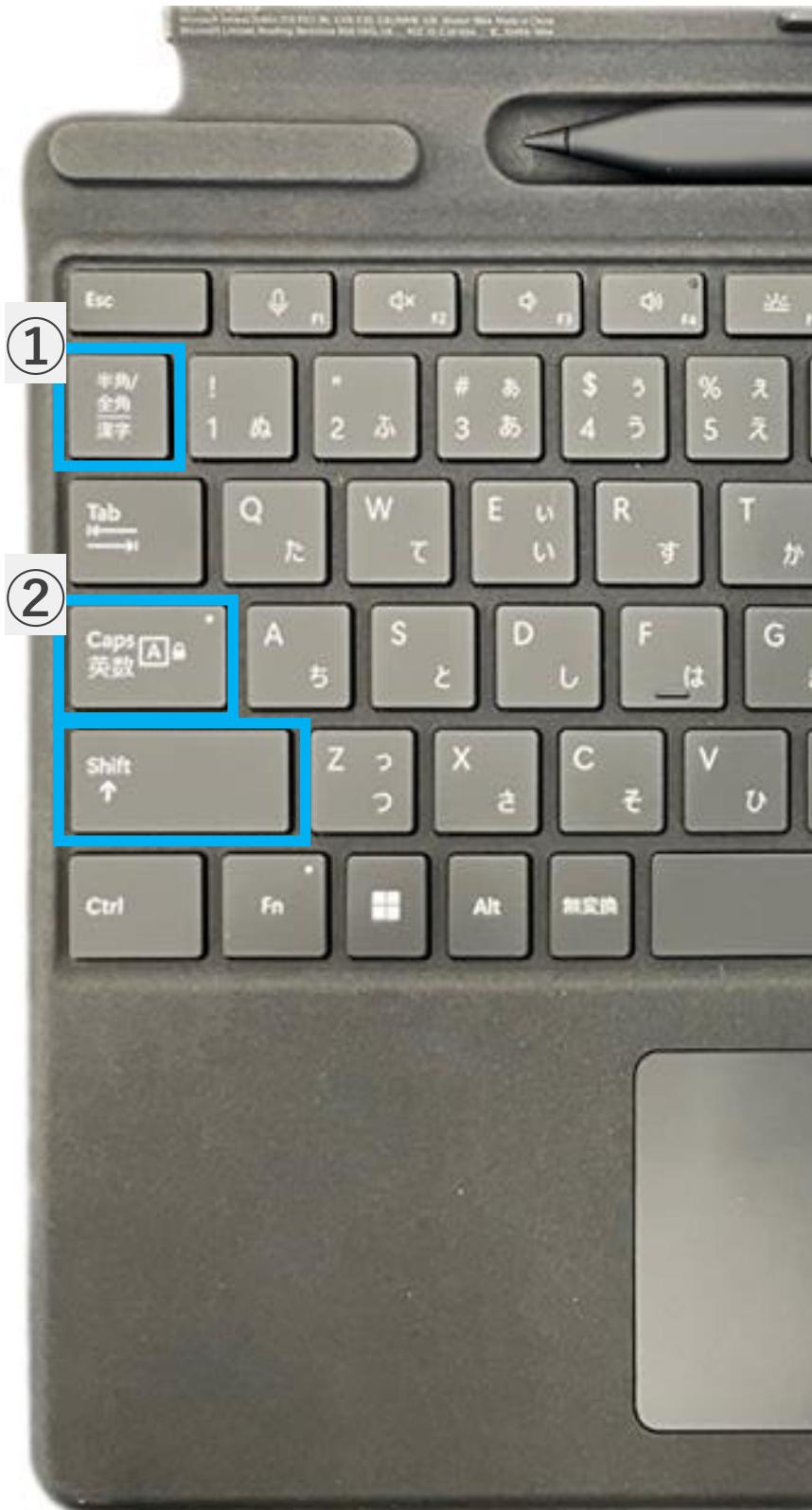
・ダブルクリック

⇒左クリックボタンを2回続けて押すこと

・ドラッグ

⇒左クリックボタンを押しながらマウスカーソルを動かすこと

※タッチエリアのタップ(指先で叩く)はクリックと同じ効果があります。
タッチエリアを2回タップすることでダブルクリックと同じ効果があります



①半角/全角の切り替え方法

キーボード左上の【半/全】キーを押して切り替えることができます。
画面右下に表示されている言語バーを見ると、現在の入力の状態を確認できます。

「A」の場合は半角
「あ」の場合は全角になります。

②大文字と小文字の入力方法

キーボードの【Shift】キーを押したまま、文字のキーを押すと大文字で入力ができます。

また【Shift】キーを押したまま【CapsLock】を押すと常に大文字で入力ができる設定に切り替えることができます。
この機能をCapsLockと言います。
※もとに戻す場合はもう一度、【Shift】キーを押したまま【CapsLock】を押すと常に小文字が入力される設定に戻ります。
CapsLock機能が有効か無効については、

【CapsLock】キー

右上のランプが白点灯している場合が有効で、この状態では常に大文字で入力されます。



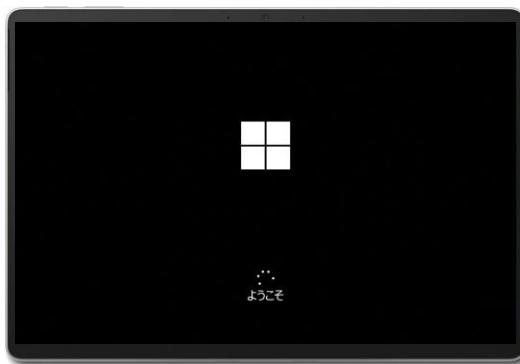
自分で初期設定を行う際は、デスクトップ画面が表示されるまでの工程を必ず完了させてください



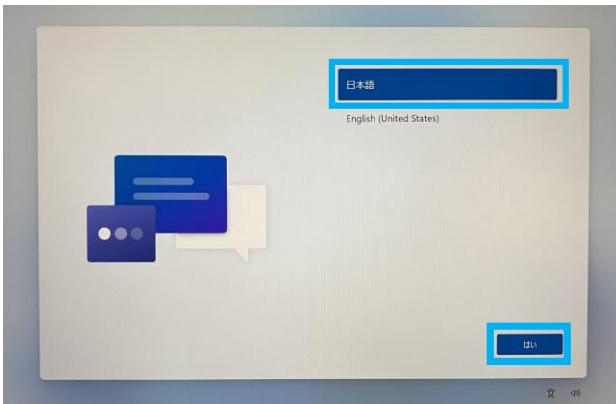
本体・ACアダプターをコンセントに接続します



Surface左側上部の電源ボタンを押します

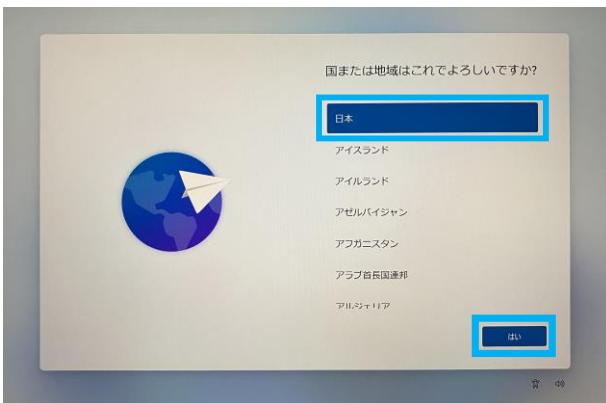


Microsoft ロゴが表示され、しばらく待つと初期セットアップにうつります



「日本語」を選択し、右下の[日本語で続ける]をクリックします

※Windowsのバージョンにより[はい]の表示が[日本語で続ける]となる場合があります。

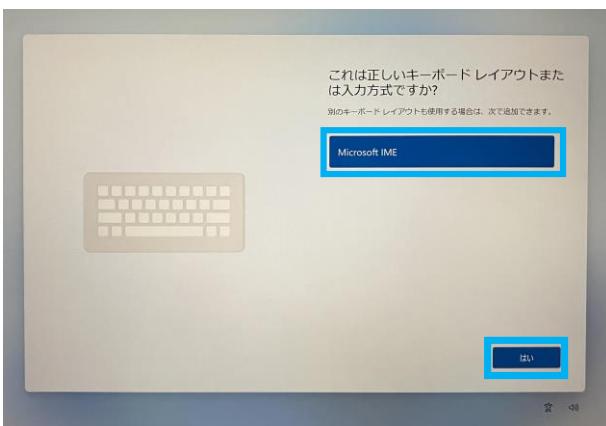


【国または地域はこれでよろしいですか？】

と表示されたら、

「日本」を選択し、

右下の[はい]をクリックします



【これは正しいキーボードレイアウトまたは入力方式ですか？】

と表示されたら、「Microsoft IME」が選択されていることを確認し、右下の[はい]をクリックします



【2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか？】

と表示されたら、右下の[スキップ]をクリックします

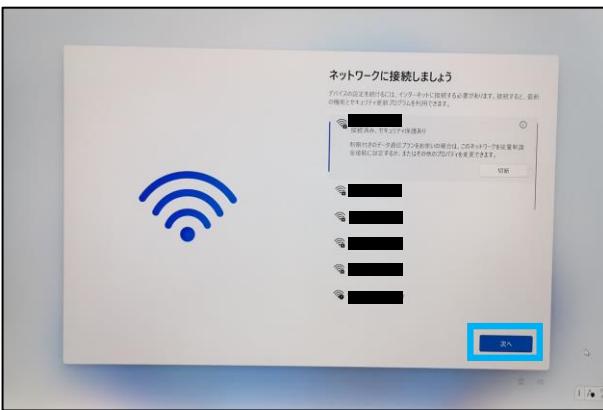


【ネットワークに接続しましょう】

と表示されたら、接続可能なWi-Fiを選択し、対応するパスワードを入力後、

[次へ] をクリックします

※接続先選択後、「自動的に接続」にチェックを入れることで、次回からパスワード入力を省略できます。



Wi-Fiに接続ができたことを確認後、

右下にある [次へ] をクリックします

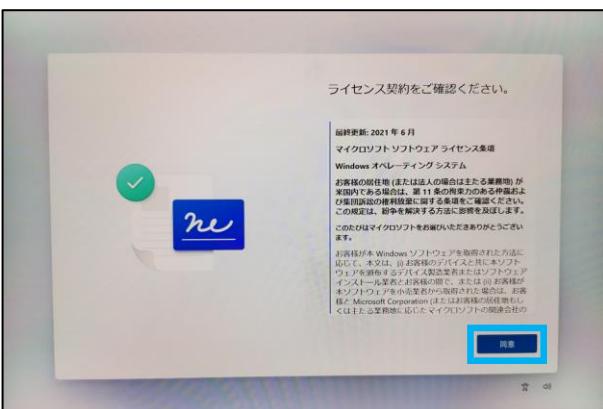


【アップデートを確認しています。】

と表示されたらそのまましばらく

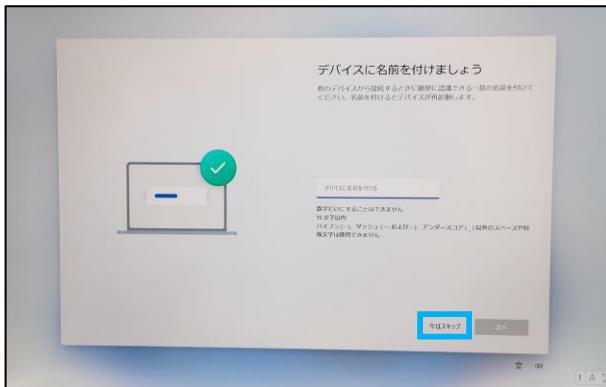
お待ちください。

※お待ちいただいている間にパソコンが再起動をすることがあります。また、Wi-Fi接続の設定時に「自動的に接続」にチェックを入れていない場合は、再起動後、Wi-Fi接続画面になることがあります。その場合は「Wi-Fi接続」後に[次へ]をクリックしてください。



【ライセンス契約をご確認ください】

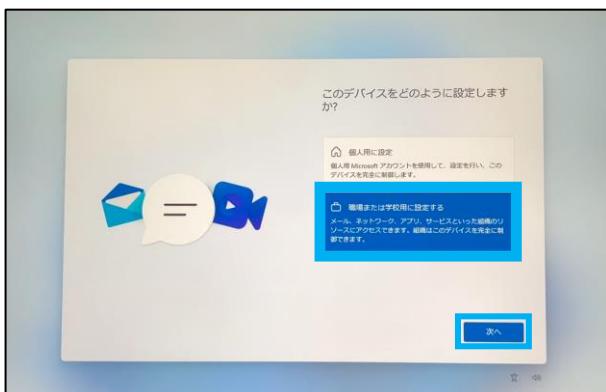
と表示されたら、右下の[同意]をクリックします



【デバイスに名前を付けましょう】

と表示されたら、右下にある【今はスキップ】をクリックします

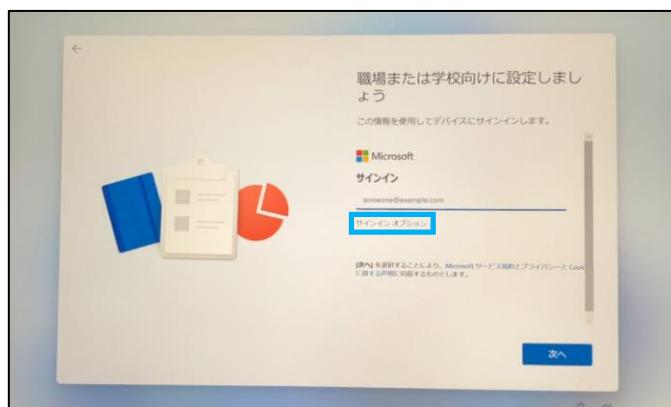
※後で設定が可能です。



【このデバイスをどのように設定しますか？】

と表示されたら、

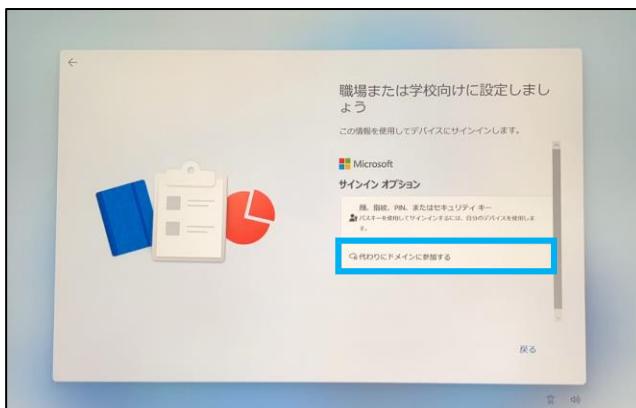
[職場または学校用に設定する]を選択し、右下にある[次へ]をクリックします



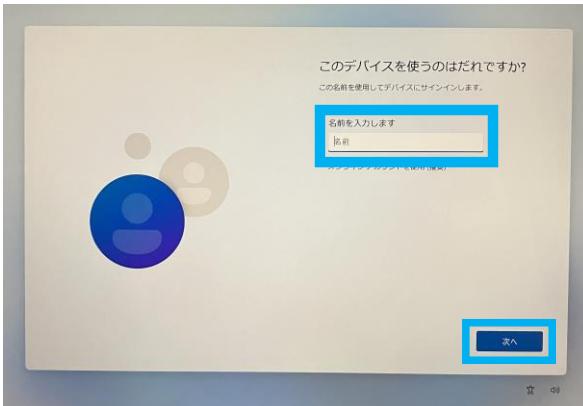
【職場または学校向けに設定しましょう】

と表示されたら、すぐ下にある

[サインイン オプション]をクリックします



続いて、[代わりにドメインに参加する]をクリックします



このデバイスを使うのはだれですか?

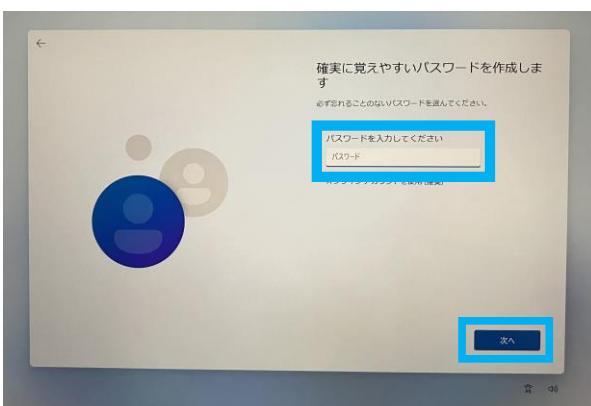
この名前を使用してデバイスにサインインします。

名前

名前

次へ

戻る



確実に覚えやすいパスワードを作成します

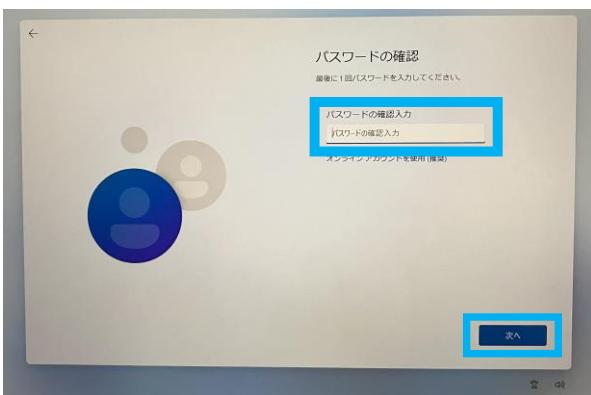
必ず忘れるこのないパスワードを選んでください。

パスワード

パスワード

次へ

戻る



パスワードの確認

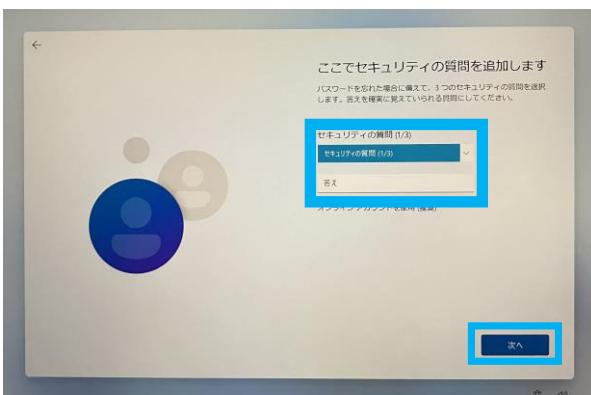
最後に1回パスワードを入力してください。

パスワードの確認入力

パスワードの確認入力

次へ

戻る



ここでセキュリティの質問を追加します

パスワードを忘れた場合に備えて、3つのセキュリティの質問を選択します。答えを簡単に覚えておられる質問にしてください。

セキュリティの質問(1/3)

でもう1つの質問(1/3)

答える

次へ

戻る

【このデバイスを使うのはだれですか?】

と表示されたら、PC利用時の名前(アカウント名)を入力します

日本語だと文字化けする可能性がある為、半角英数、アルファベットでの入力を推奨します

入力したら[次へ]をクリックします

【確実に覚えやすいパスワードを作成します】

と表示されたら、パスワードを設定します。忘れる事のないよう、必ずどこかに控えておいてください。

入力したら[次へ]をクリックします

※パスワードの入力をせずに【次へ】をクリックすることで、スキップする事ができます。その場合は「16ページ」の【デバイスのプライバシー設定の選択】へ進んでください。

【パスワードの確認】

と表示されたら、一つ前の画面で入力したパスワードをもう一度入力します

入力したら[次へ]をクリックします

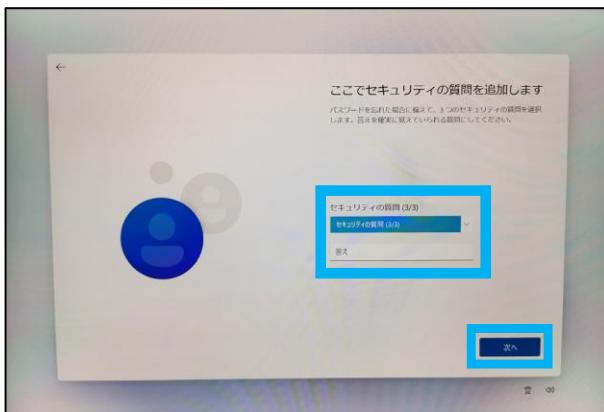
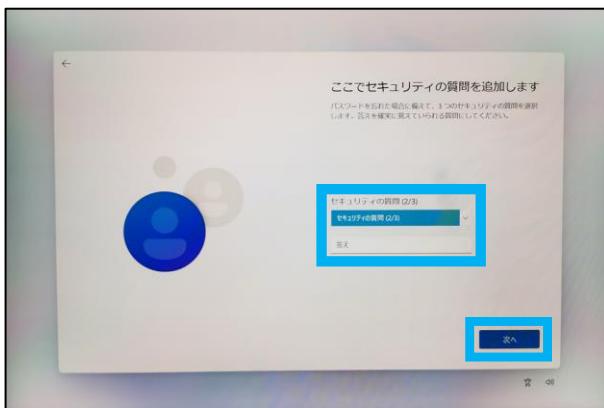
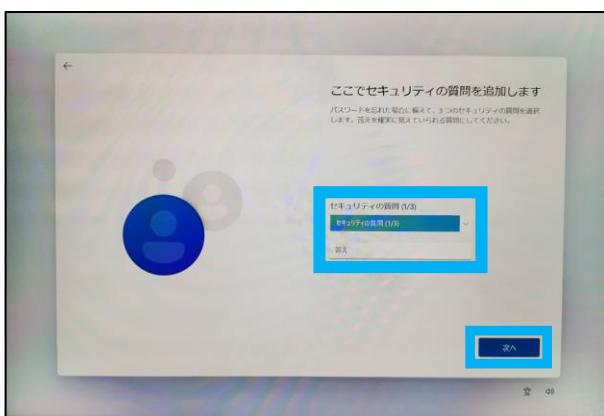
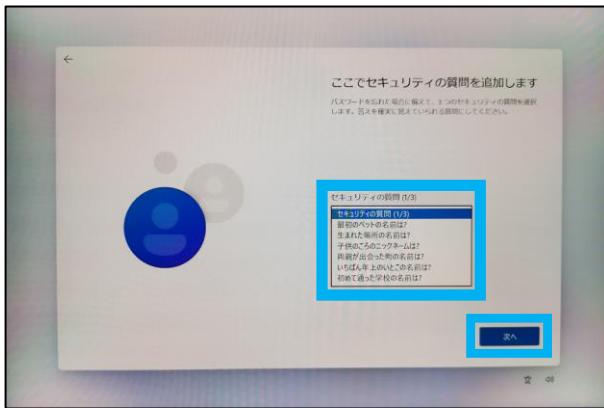
【ここでセキュリティの質問を追加します】

と表示されたら、パスワードを忘れた際の質問と答えを設定します

入力後、[次へ]をクリックします

※忘れる事のないよう、必ずどこかに控えておいてください

また、パスワードを設定しなかった場合は表示されません



【このアカウントのセキュリティの質問を作成します】

質問の選択肢は全部で 6 つあります

以下のの中から 3 つの質問を選択し、答えを設定してください

最初のペットの名前は？

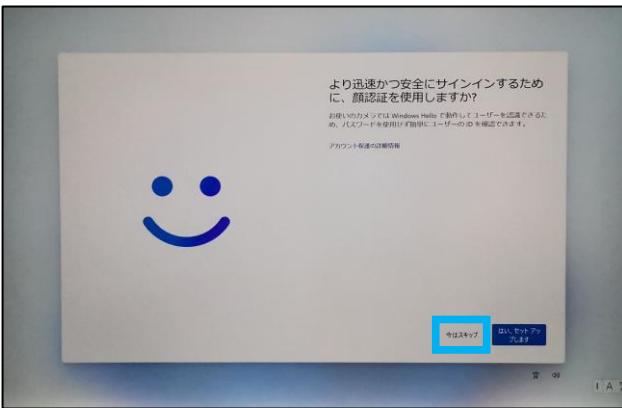
生まれた場所の名前は？

子供のころのニックネームは？

両親が出会った町の名前は？

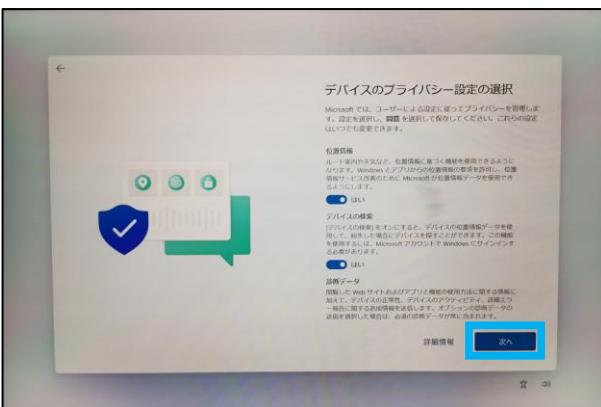
いちばん年上のいとこの名前は？

初めて通った学校の名前は？



【より迅速かつ安全にサインインするために、顔認証を使用しますか？】

と表示されたら、右下の[今はスキップ]をクリックします



【デバイスのプライバシー設定の選択】

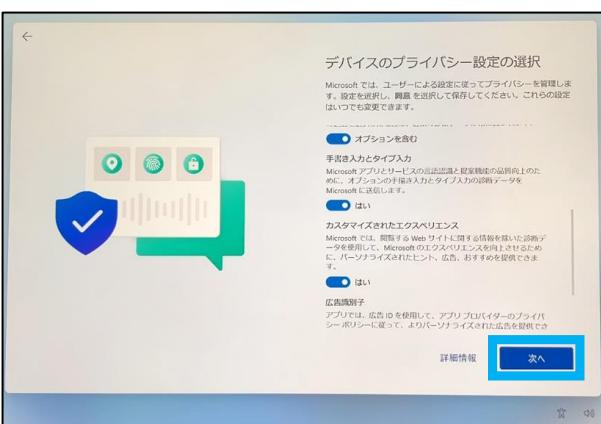
・位置情報

・デバイスの検索

・診断データ

右下の[次へ]をクリック

自動でページがスクロールされ次に



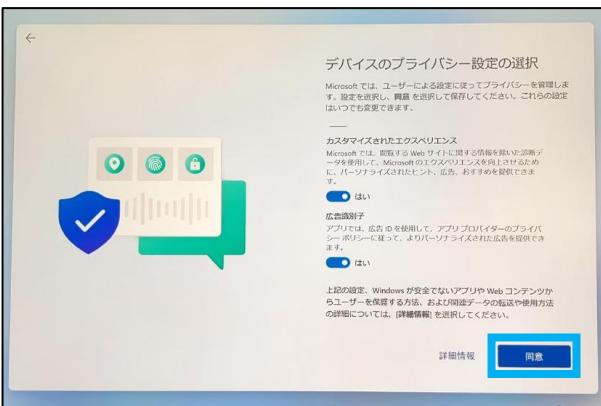
・手書き入力とタイプ入力

・カスタマイズされたエクスペリエンス

・広告識別子

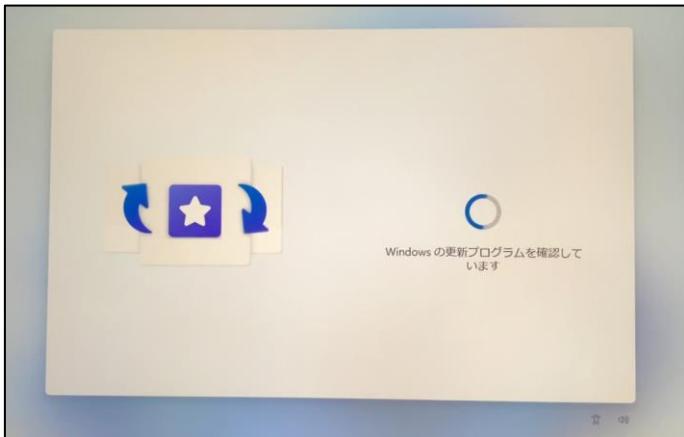
右下の[次へ]をクリック

自動でページがスクロールされます

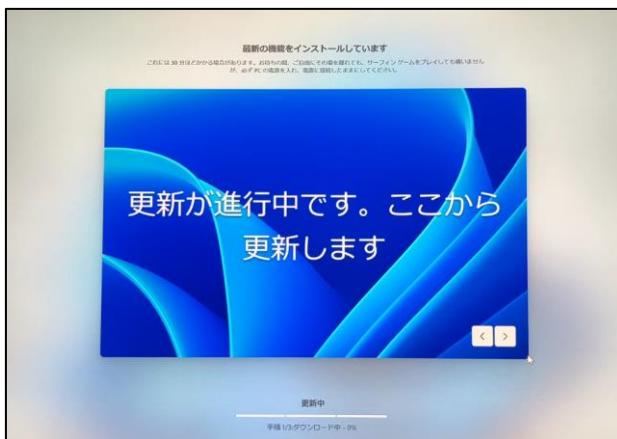


一番下までスクロールが完了したら、

右下の[同意]をクリックします



【Windows の更新プログラムを確認しています】と表示されたら、自動で画面が切り替わるまで待ちます。



【最新の機能をインストールしています】という表示される場合がございます。

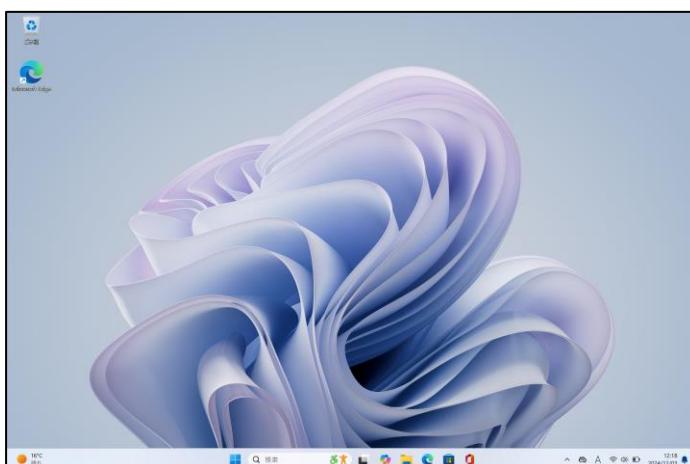
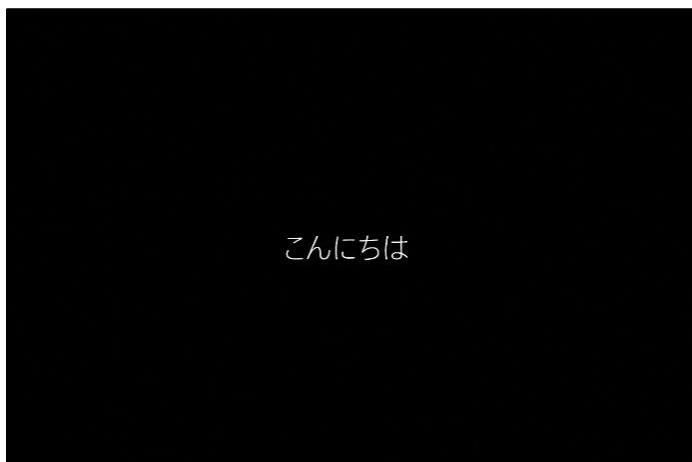
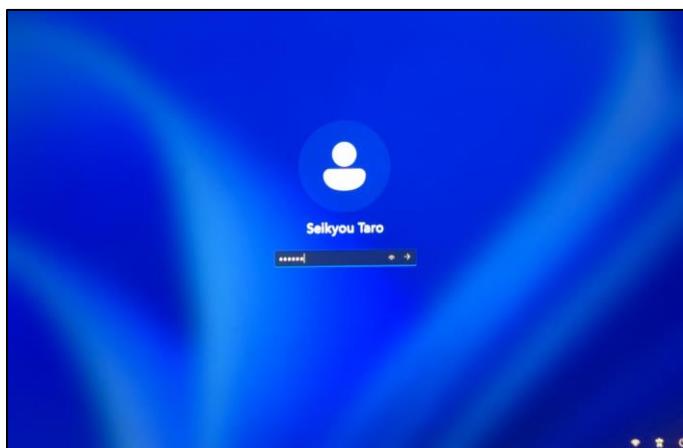
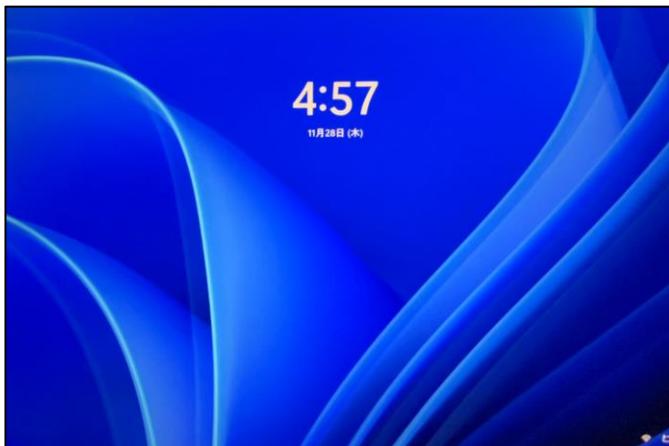


画面が自動で切り替わりますが、しばらくそのままお待ちください。



更新の完了後、パソコンが再起動をする場合があります。

※再起動をしなかった場合は次のページに記載のデスクトップ画面が表示されます。



再起動後に[日時]の画面が表示されたら、
キー-ボードの「Enter」キー、もしくは
トラックパッドの「左クリック」をしてください。

Windowsの「ログイン画面」が表示されます
ので、初期設定の際に”ログイン パスワード”
を設定されている場合は設定した[パスワード]
を入力してください。

「こんにちは」が表示されたら、画面が切り
替わりますので、しばらくお待ちください。

しばらくすると、
デスクトップ画面が表示されます
これでSurface の初期設定は完了です



初期設定完了し、デスクトップ画面が表示された後にカメラの初期設定画面が表示される場合があります。

【Windows Studio Effectsを利用可能】と表示された場合には[次へ]をクリックします。



【オートフレーミング】と表示された場合には[次へ]をクリックします。



【背景ぼかし】と表示された場合には[次へ]をクリックします。



【アイコンタクト】と表示された場合には[次へ]をクリックします。



【音声フォーカス】と表示された場合には[次へ]をクリックします。

上記の設定は任意で[オン・オフ]を切り替えても構いません。

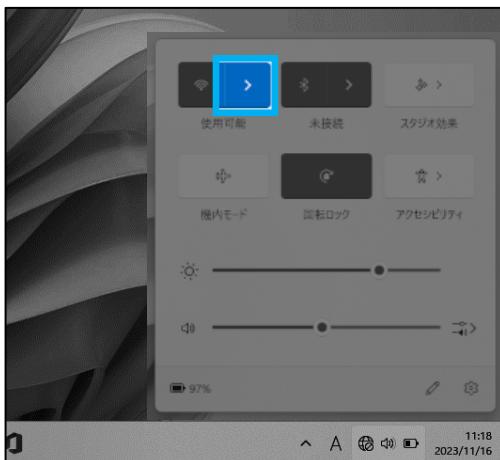


※違うネットワークに接続する手順の説明です。初期設定の際にネットワークへの接続をしている場合は作業を飛ばして構いません。

デスクトップの右下の

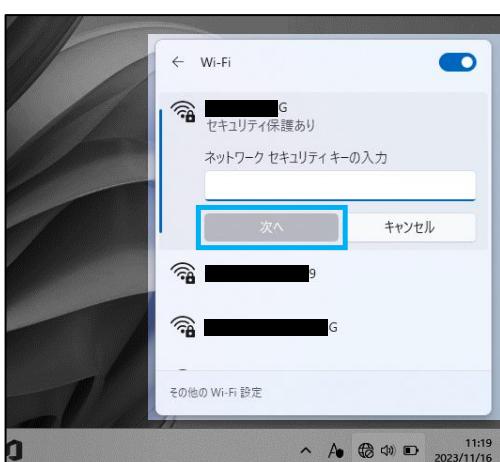
【地球儀】【スピーカー】【バッテリー】アイコン

をクリックし、クリック設定を表示させます。



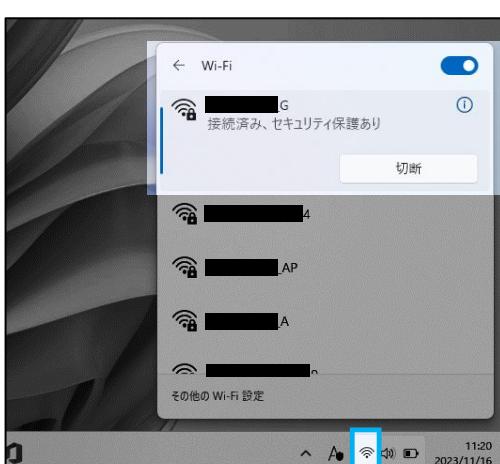
【Wi-Fi】アイコンの隣のある

をクリックし、Wi-Fiの接続先を表示させます。



接続可能なWi-Fiを選択後、

パスワードを入力し、[次へ]をクリック



WiFiに接続ができると地球儀のアイコンからアンテナのアイコンに変わり、



接続したネットワークの下に [接続済み] の表示がされます。

以上でネットワークへの接続は完了です。

「デバイスの暗号化（BitLockerの機能）」について

Windowsのセキュリティ機能であるデバイスの暗号化（BitLocker）については、パソコンに記録された情報を守るために機能ですが、正しく認識をされずに使用された場合にパソコンが起動できなくなるリスクがあります。

◆ご利用時の重要なお知らせ◆ 必ずお読みください。 ～修理発生時のトラブルを回避します～

デバイスの暗号化（BitLocker）機能とは

パソコンの紛失や盗難をされてしまった場合に、パソコン内に記録されている情報を他者から見ることができないように暗号化をする機能です。この機能には利点と不利点（メリット・デメリット）がありますので、理解したうえで利用してください。

利点・メリット

パソコンに個人情報や重要な情報が記録されている場合、パスワードや解除キーがわからなければ不正に情報を見られてしまう事態を防ぐことができます。

不利点・デメリット

- ・使用中に暗号化の動作が行われるため、パソコンに負荷がかかった状態になります、近年のパソコンでは気にするほどではないですが、通常動作に加えて暗号化の動作も行われていることを知っておいてください。
- ・修理による部品交換などで、機器の構成が変わった際にパソコンが起動できなくなる場合があります、パソコンは治ったけれども使用できない状態になってしまいます。これはWindowsが別のパソコンに記憶装置が接続されたと認識し、保護機能を有効にする事に起因します。

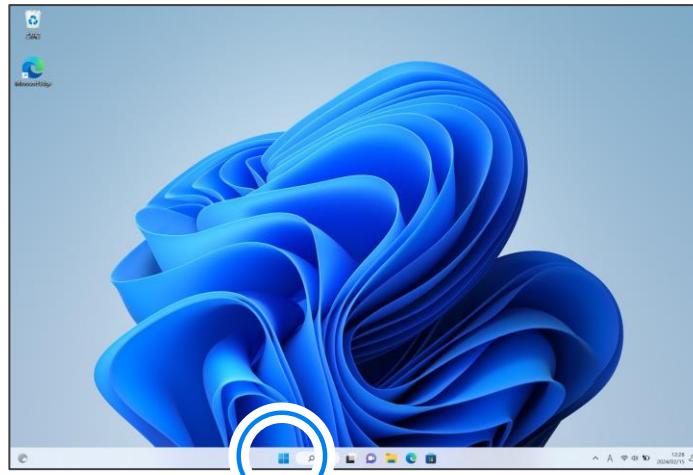
デバイスの暗号化を使用するかどうか迷われたら

大切な情報を守るために機能ですので、万が一のためにご使用することをお勧めしております。

次のページで暗号化の状態を確認していただきまして、機能を使用する場合すでにオンになっている場合は暗号化（BitLocker）回復キーのバックアップを必ず保管してください。

下記の手順で暗号化の状態を確認し、オフの場合は機能を有効にします。
有効化するにはMicrosoftアカウントが必要です。
すでにMicrosoftアカウントをパソコンに登録されていた場合は、暗号化機能が自動的にオンの状態になっている場合があります。

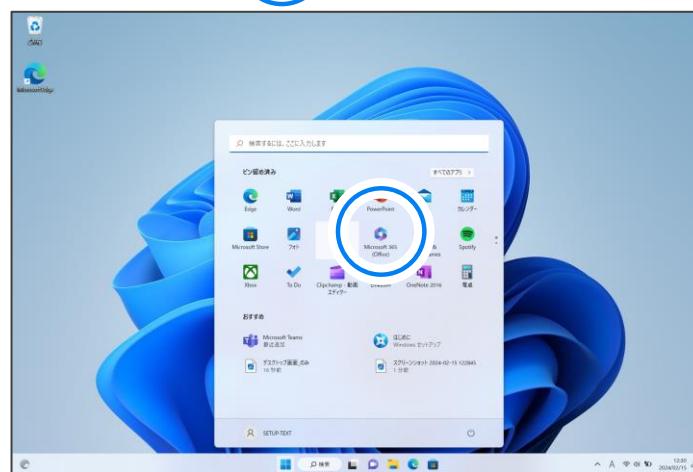
画像は一例です、メーカー・機種により表示が異なる場合があります。



“スタートボタン”をクリックします。



←“スタートボタン”



“設定”をクリックします。



←“設定”アイコン



“プライバシーとセキュリティ”を
クリックします。

“デバイスの暗号化”が表示されますので
クリックします。

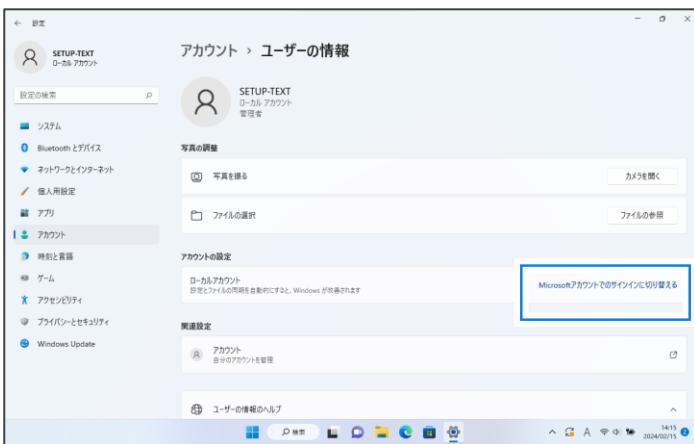


④

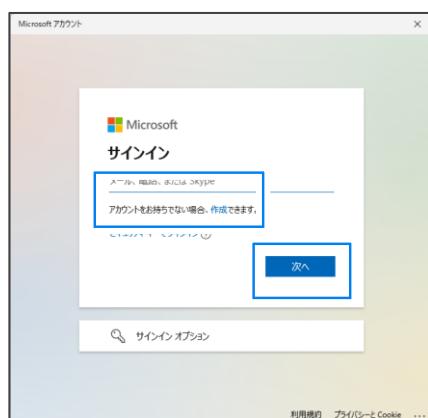
⑤



⑥



⑦



⑧

号化の状態を確認します。



オンの状態

オフの状態

オフになっていた場合は、「オフ」をクリックし、「オン」の状態にします。

「このデバイスの暗号化を完了するには、Microsoftアカウントでサインインしてください。」と表示された場合は、「サインイン」をクリックします。

表示されない、またはすでにオンの場合は手順⑯まで進みます。

設定のアカウント、ユーザーの情報が自動で表示されます。

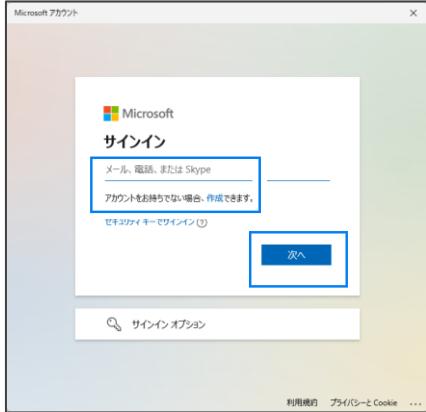
「Microsoftアカウントでのサインインに切り替える」をクリックします。

「サインイン」のウインドウが表示されます。

次のページでMicrosoftアカウントの有無により、手順が別れます。

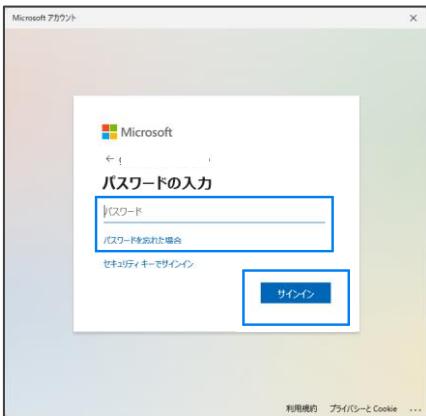
- Microsoftアカウントをお持ちの方は、手順⑨へ進みます。
- Microsoftアカウントをお持ちでない方は新規作成を行ってください、
青文字の「作成」をクリックし、画面表示に従ってください。
作成後は手順⑫からお進めください。

⑨



Microsoftアカウントを入力し、
「次へ」をクリックします。

⑩



Microsoftアカウントのパスワードを入力し、
[次へ]をクリックします。

⑪



【保護の強化にご協力ください...】が表示された場合は、すぐに確認ができる電話番号を登録し[次へ]をクリックします。

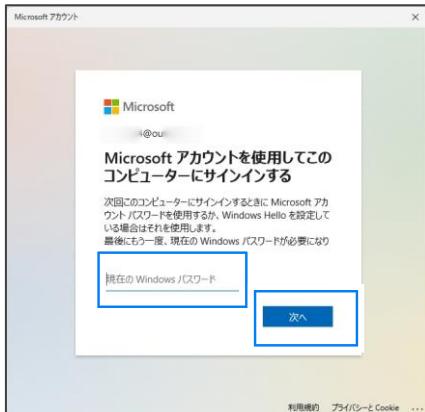
スマートフォンであればSMSでの認証確認が可能です。

表示されない場合は⑫へ

この画面はスマートフォンの電話番号を登録し、SMSが送信された画面です。

スマートフォンで受信したコードを入力し、[次へ]をクリックします。

12



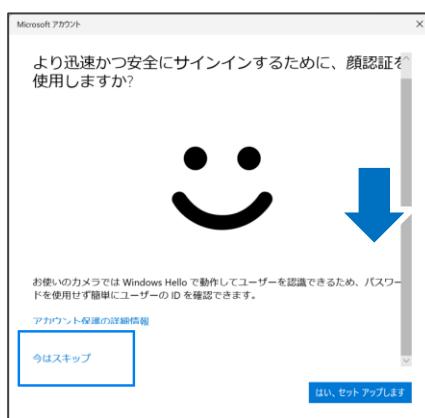
Windowsに設定したパスワードを
入力し、“次へ”をクリックします。

13



パソコンの機種によっては指紋認証の設定
を促す画面が表示されます。

あとで設定する場合は下にスクロールし、
“今はスキップ”をクリックします。



顔認証の設定が表示された場合もあとで
設定する場合にも下にスクロールし、“今は
スキップ”をクリックします。

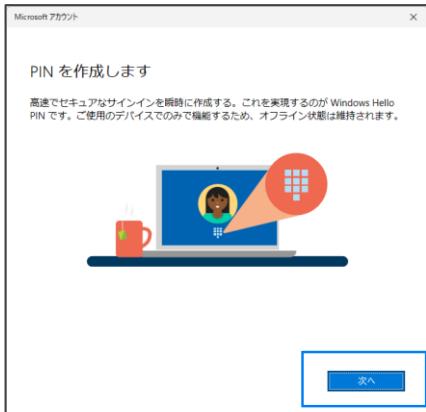
14



「あと一步です」が表示されたら“次へ”を
クリックします。

表示されない場合は次の手順に進みます。
(表示がされない場合も問題はございません)

⑯



「PINを作成します」が表示されたら“次へ”をクリックします。

既に設定されていて表示されない場合は、ユーザー確認画面が表示されますので、設定済みのPINを入力し⑰へお進み下さい。

⑯



PINコードを登録します。

Windowsの起動時にパスワードの代わりに
入力することでログインが可能です。

4文字以上で、数字のみもしくは、英字・
記号を含めたコードを設定できます。

確認として同じコードを2回入力し、
“OK”をクリックします。

⑰



設定画面に戻りますので、

“プライバシーとセキュリティ”を
クリックします。

“デバイスの暗号化”的表示を
クリックします。

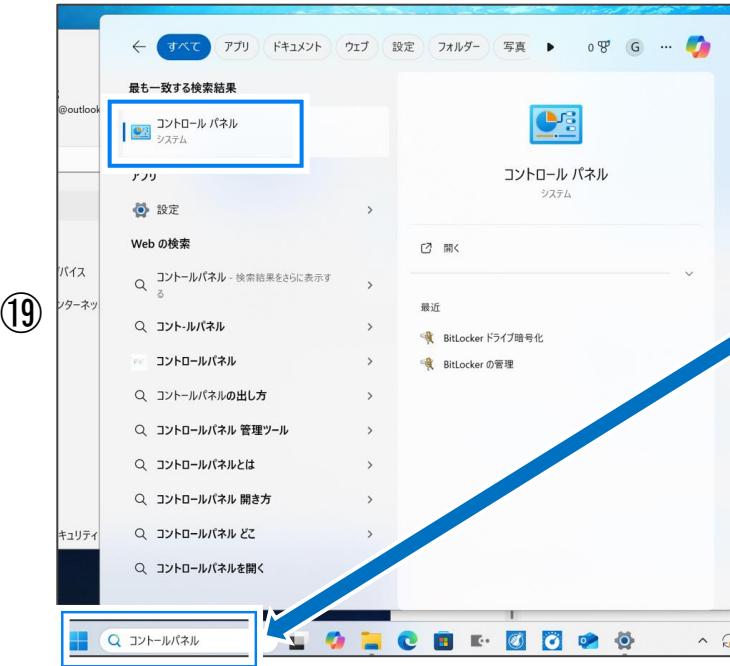
⑱



「デバイスの暗号化」がオンに
なっていることを確認します。

次のページから、暗号化状態で
ロックされてしまった場合の回復
キーの確認を行います。

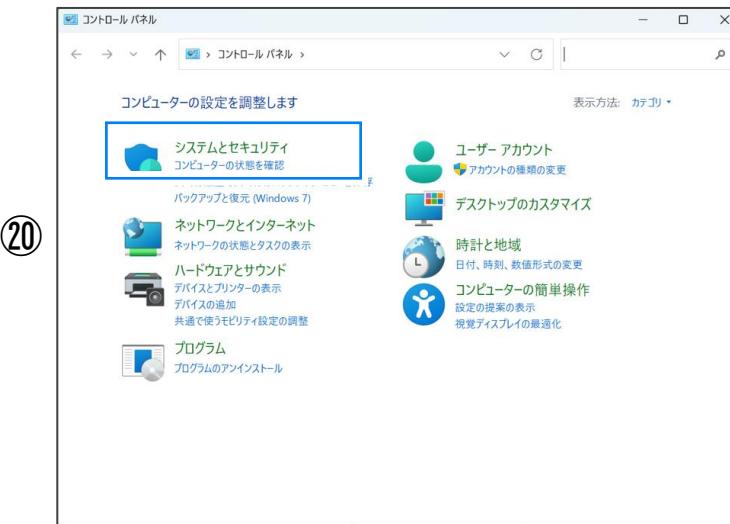
暗号化処理中でもパソコンはそのまま使用できます。



Windowsの検索ボックスに入力を
行います、ボックスが開いていない場合は虫
眼鏡の検索アイコンをクリックします。

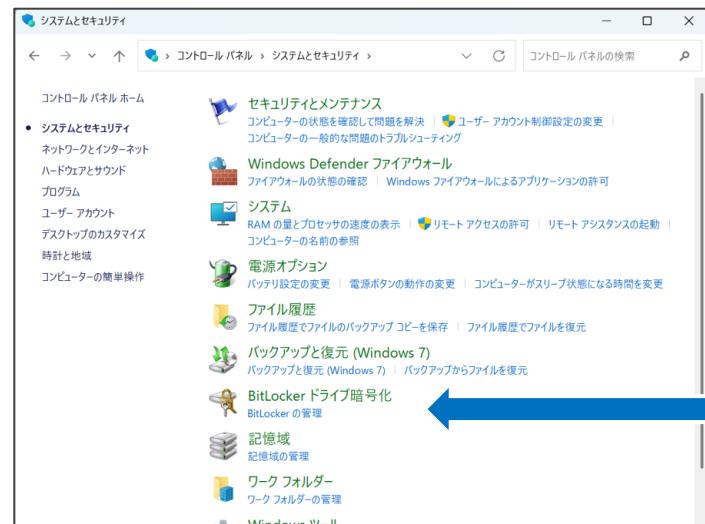


「コントロールパネル」と入力します、画面の
上方に下図の表示がされますので、クリッ
クします。



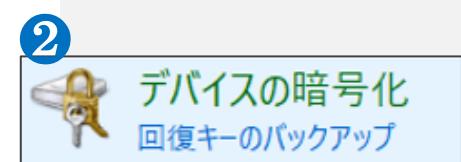
コントロールパネルのウィンドウが
開きます。

「システムとセキュリティ」をクリックして開きま
す。

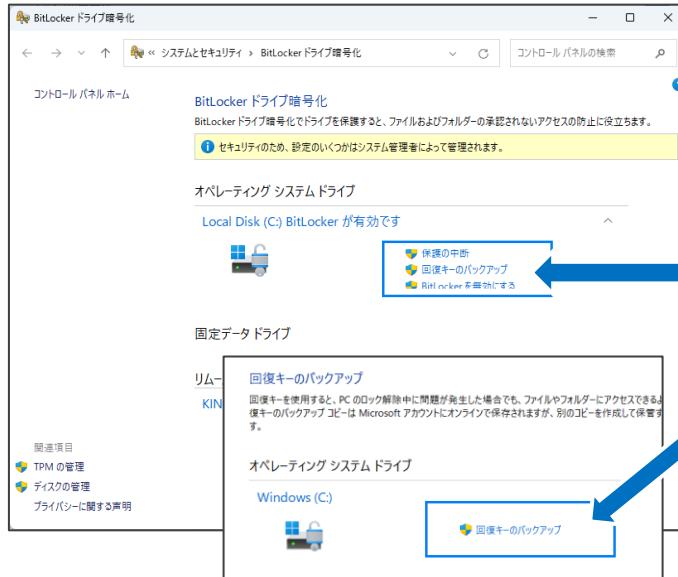


下記の表示部分をクリックします。

機種により、2種類がありますので、表示さ
れたアイコンをクリックしてください。



22



機種の違いにより、左図の表示が異なりますが、どちらの場合も「回復キーのバックアップ」をクリックしてください。

23

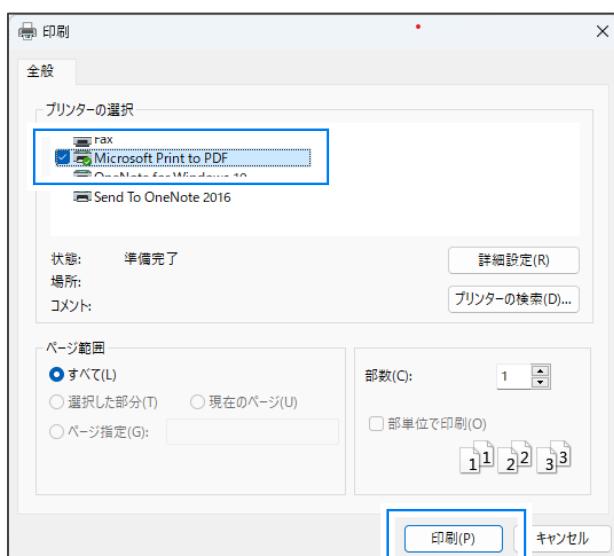


回復キーのバックアップ方法を選択する画面が表示されます。

「→回復キーを印刷する(P)」をクリックします。

プリンターをお持ちでない、また、接続をしていない場合でも問題はございません。

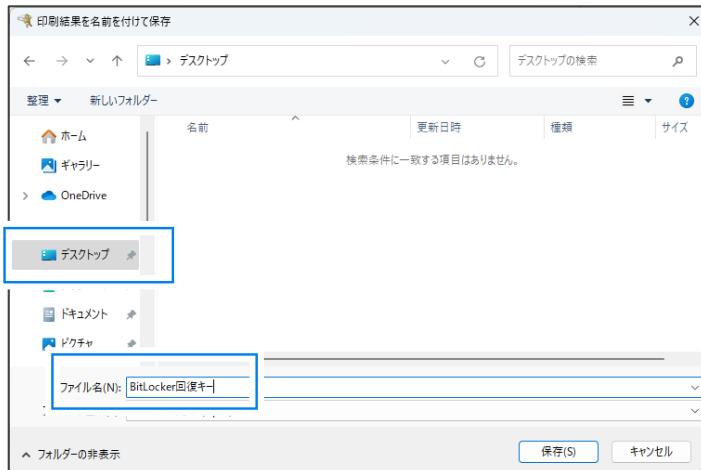
24



「印刷」画面が表示されますので、「Microsoft Print to PDF」をクリック選択し、「印刷(P)」をクリックします。

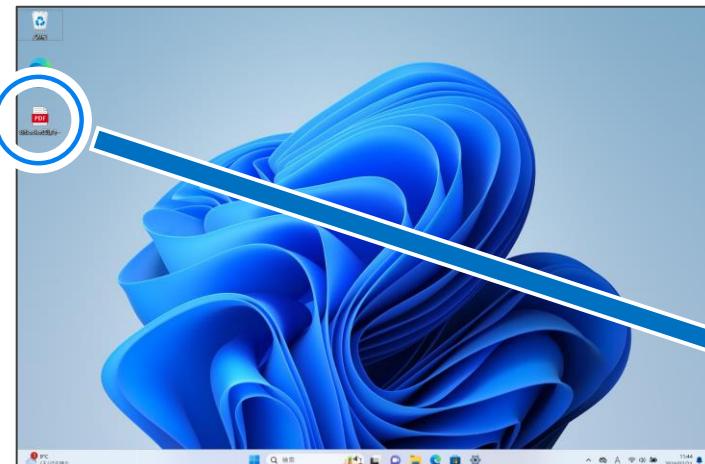
「Microsoft Print to PDF」が表示されない場合や、プリンターを既に使用されている場合は、直接紙に印刷していただいて結構です。

25



「印刷結果を名前を付けて保存」が表示されますので、ファイル名を入力、保存先を指定して、“保存(S)”をクリックします。

26



ここでは、保存先を“デスクトップ”、ファイル名を「BitLocker回復キー」としています。

バックアップ方法指定の画面は、

“完了”をクリックして閉じてください。

完了(F)

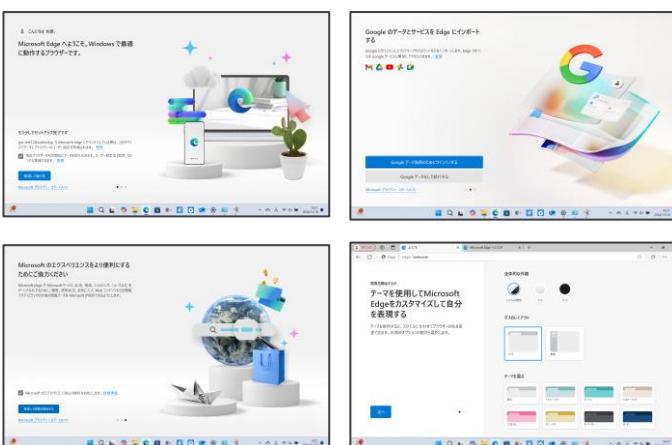
保存先である“デスクトップ”にファイルが作成されていることが確認できます。

作成されました、

「BitLocker回復キー」ファイルをダブルクリックし、ファイルを開きます。



27

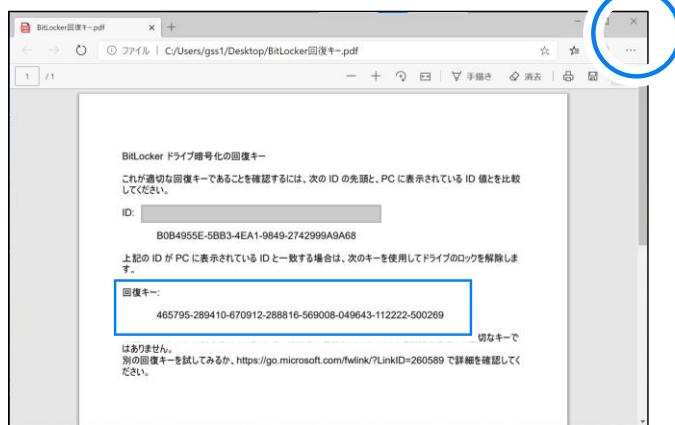


Microsoft Edgeが起動します、初回起動の場合は左の画面が表示されますので、以下のように進めます。

- ・「確認して続ける」
- ・「Googleデータなしで続行する」
- ・「確認して閲覧を開始する」
- ・「次へ」
- ・「完了」をクリックして設定を進めてください。



23



Microsoft Edgeが起動し、回復キーが表示されます、画面を写真撮影、印刷をして記録されることをお勧めいたします。

下記メモ欄もよろしければご使用ください。

ウィンドウは右上の“X”をクリックして画面を閉じます。

6行ずつ、全48文字で構成されています。

次のページは参考です、暗号化をオフにする方法です。

回復キー手書き記録欄

| 6行 | 6行 | 6行 | 6行 |
|----|----|----|----|
| 6 | 12 | 18 | 24 |
| 6行 | 6行 | 6行 | 6行 |
| 30 | 36 | 42 | 48 |

**暗号化のオフ、オンを行いますと回復キーが変更されます。
その都度、バックアップを実施してください。**

参考

回復キーはMicrosoftアカウント情報に保存されています。
以下のURLよりご確認が可能です。

<https://account.microsoft.com/devices/recoverykey>

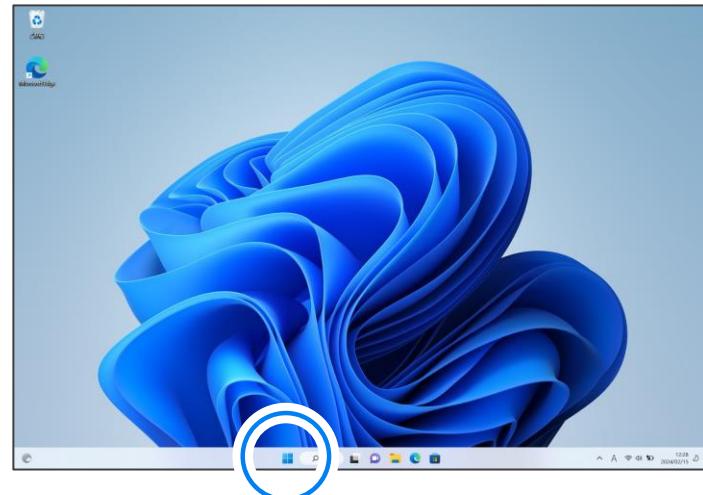
下の画面はセキュリティ機能が動作し、パソコンがロックされた状態です。
この場合に回復キーを入力し、ロック状態の解除を行います。



作業は完了です、次の「Windows Updateについて」へお進みください。

暗号化機能が不要と判断された場合や、修理が必要な際にあらかじめ暗号化を解除する場合にご参照ください。
オンのまま使用する場合は、次の「Windows Updateについて」へお進みください。

画像は一例です、メーカー・機種により表示が異なる場合があります、

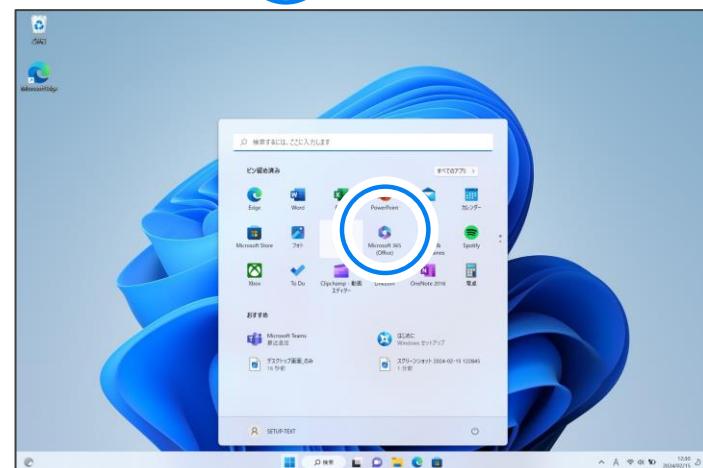


①

“スタートボタン”をクリックします。



←“スタートボタン”



②

“設定”をクリックします。



←“設定”アイコン



③

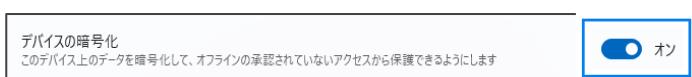
“プライバシーとセキュリティ”をクリックします。

“デバイスの暗号化”が表示されますのでクリックします。

④



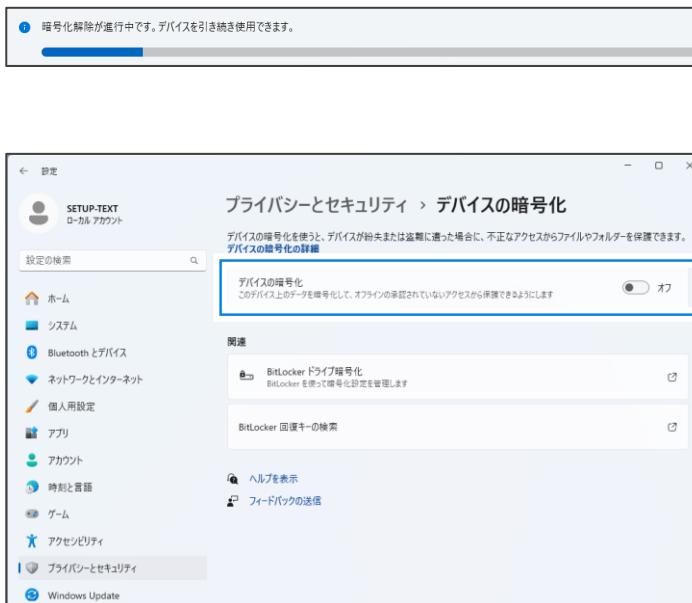
⑤



⑥



⑦



暗号化の状態を確認します。

- オンの状態
- オフの状態

"オン"をクリックし、"オフ"の状態にします。

「デバイスの暗号化の無効化」の
ウィンドウが表示されます。

"オフにする"をクリックします。

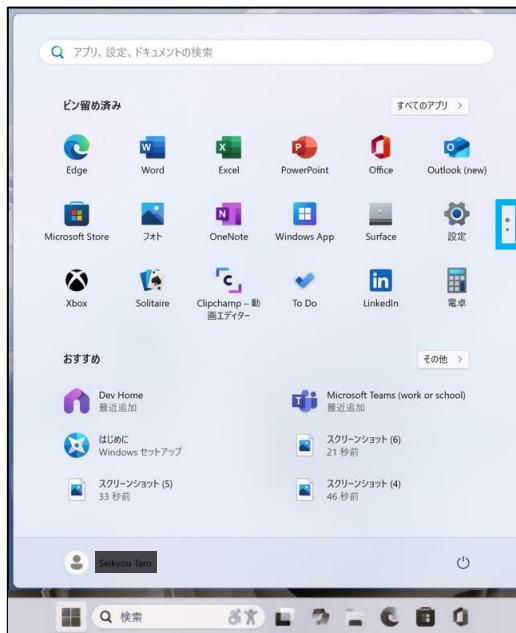
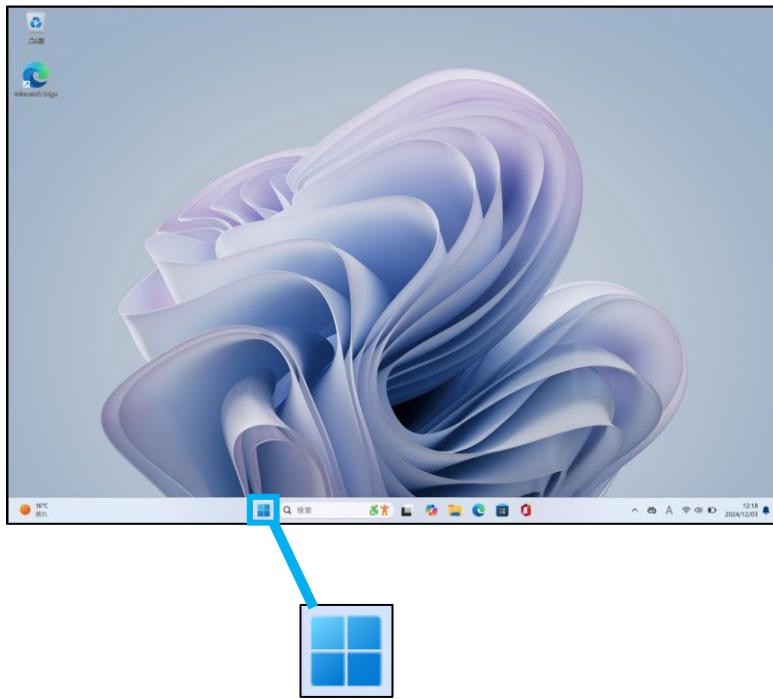
「暗号化解除が進行中です。

デバイスを引き続き使用できます。」と表示されたのちに、

オフの状態になります。

再度、機能をオンにする場合は回復キーのバックアップも忘れずに行ってください。

※説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCと異なる場合があります



起動後、ログイン画面でパスワードを入力しサインインすると、右のようなデスクトップ画面になります。（起動時にロック画面が表示されログイン画面にならないときは画面を一度クリックしてください。）

デスクトップ画面で画面中央下のスタートボタンをクリックするとスタート画面を表示します。

このスタート画面で起動したいアプリを選びクリックして実行します。

スタート画面上部にはピン留め済みのアプリのアイコンが表示されます。右側にある丸をクリックする事で表示ページを切り替えることができます。

※マウスカーソルをスタート画面のピン留め済みに合わせスクロールをすることでページを切り替えることもできます。

スタート画面下部には「おすすめ」は直近でよく使用されているアプリが表示されます。

次ページから詳細を説明します。

【インターネットブラウザ「Edge」（エッジ）について】

Windows 11 ではインターネットを見るアプリ（ブラウザ）はEdgeを使います。

（従来のWindowsのブラウザは「インターネットエクスプローラ（IE）」でした。）

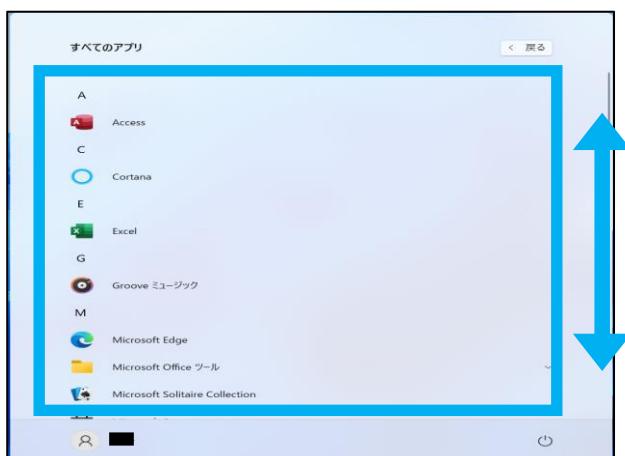
インターネット接続環境が整ったらEdgeを使ってインターネットを利用してください。



※説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCと異なる場合があります



スタート画面に表示されているアプリのアイコンをクリックするとアプリが起動します



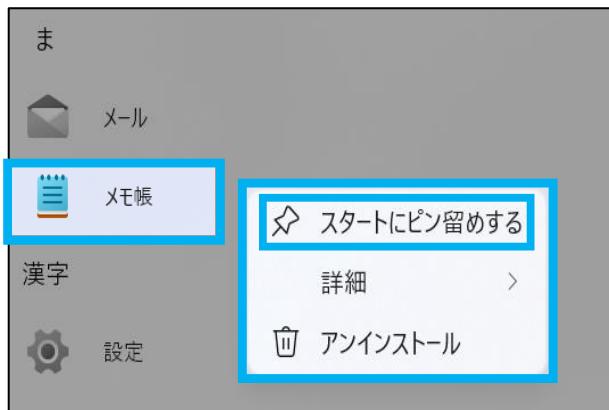
スタート画面の上部にある[すべてのアプリ]をクリックすると、インストールされているアプリの一覧を表示されます



一覧の続きを見る場合は枠内にマウスカーソルを合わせ、画面を上下にスクロールします

目的のアプリが見つかったら、アイコンをクリックして起動します

実行したいアプリのアイコンの絵や文字の部分でクリック



タイトル画面のカスタマイズ

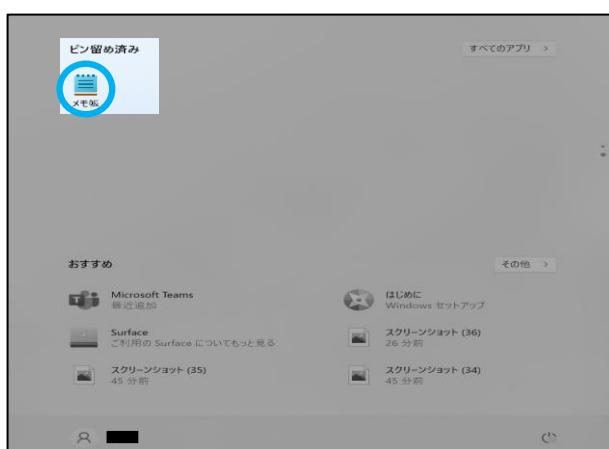
スタート画面上部の「[ピン留め済み]」によく使うアプリを追加することができます。

～例、アプリ「メモ帳」をピン留めします～

※アプリ「メモ帳」は、「すべてのアプリ」内の「[ま行]」にあります。
一覧画面で目的のアプリ、ここでは「メモ帳」を探し、右クリックします。

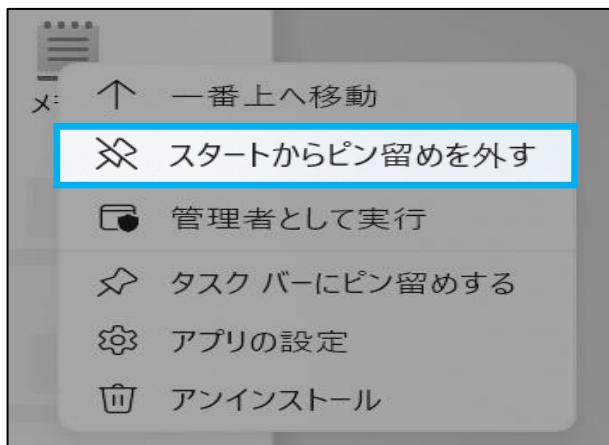
表示されたメニューの「スタートにピン留めする」をクリックします。

ピン留め済み内の位置の変更や、不要なものは削除できます。

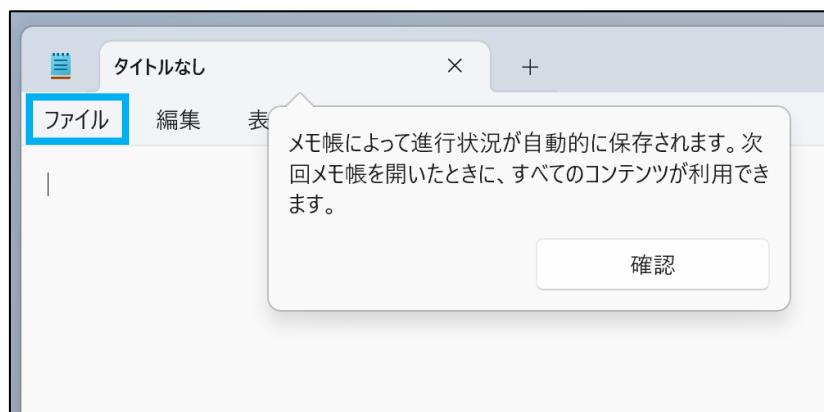


・位置の変更

移動させたいアプリをドラッグしてみてください、位置が変更できます。



・削除（一覧画面からは削除されません）
タイトルを右クリックします。表示されたメニューで「スタートからピン留めを外す」をクリックします。



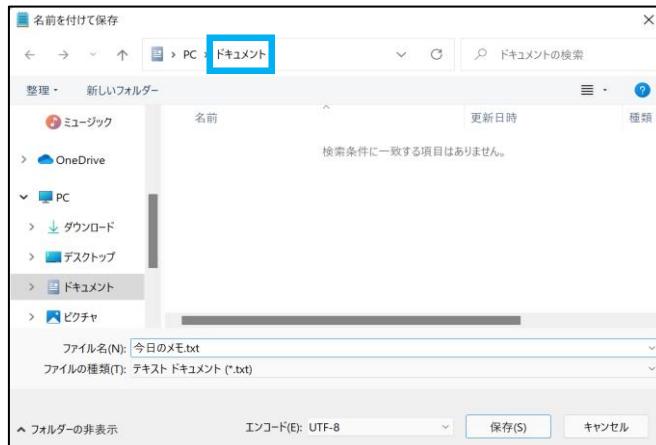
タイトル画面のカスタマイズ

～アプリ保存の例、メモ帳の場合～

「ファイル(F)」をクリックすると

上から5つ目に

「名前を付けて保存(Ctrl+Shift+S)」があるので、クリックすると
左下のような画像が出てきます。



終了時、変更や新しく作ったファイルを保存する場合は「名前を付けて保存」画面になりますがその際、ファイルをどこに保存したかは、下図を参考に意識して覚えておいてください。

ここに注目。ここでは「ドキュメント」に保存しています。

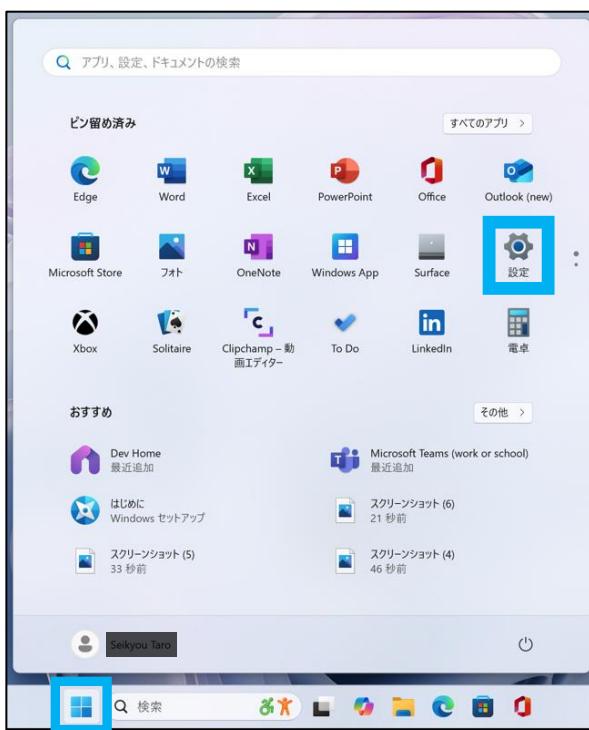
後日、保存したファイルを探すときは「ドキュメント」の中を探します。

Windowsアプリの終了は画面の右上の×をクリックします。

～アプリの終了～

画面右上の×をクリックします





※以下の手順はローカルアカウントでログインをしている場合のパスワード変更手順です。
Microsoftアカウントでログインをしている場合は、Microsoftが指定している手順に従いMicrosoftアカウントのパスワード変更を行ってください。

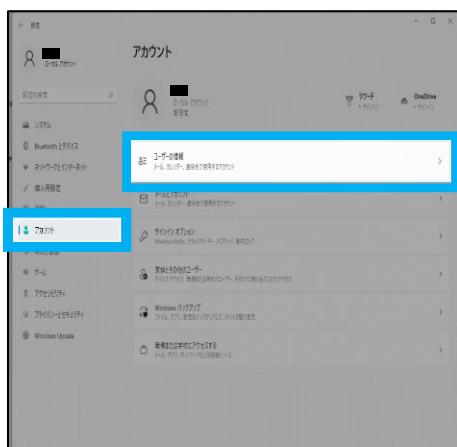
画面中央下部にある「スタートボタン」をクリックし、スタートメニューを表示させます。

スタートボタンのアイコン：

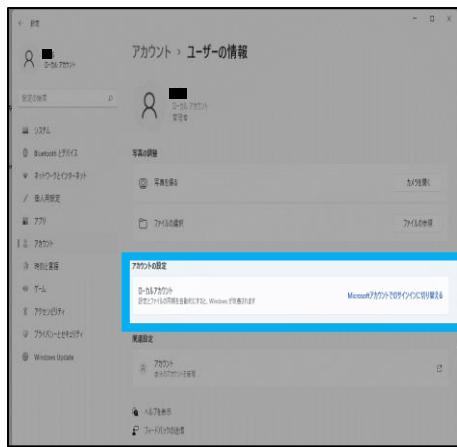


スタートメニュー内にある「設定」をクリックします。

設定のアイコン：



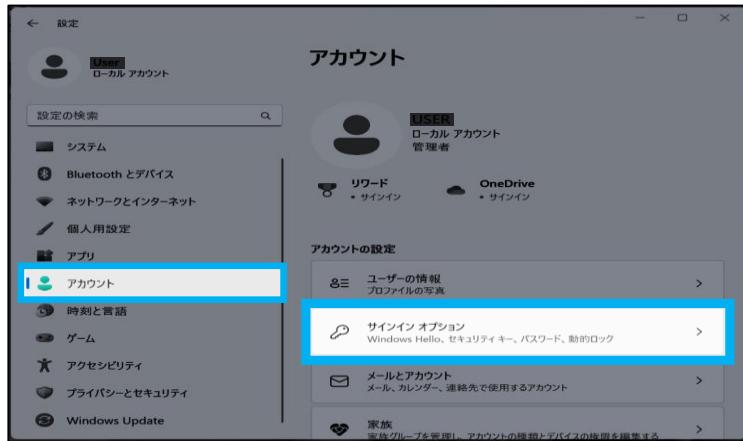
設定メニュー内の左側の「アカウント」をクリックし、右側の「ユーザーの情報」をクリックします。



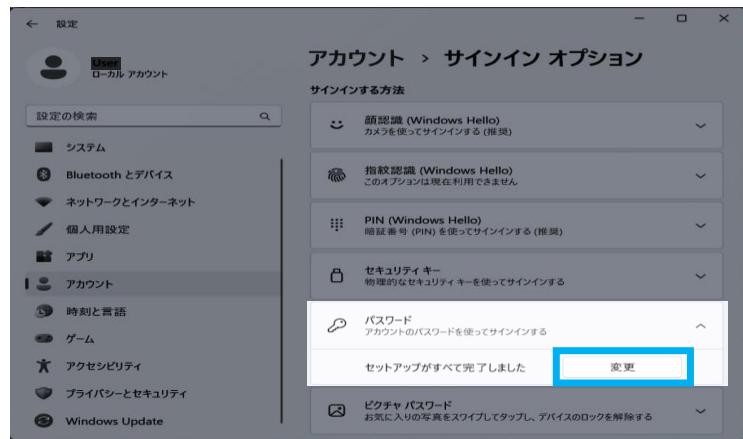
{Microsoftアカウントとの関連付け}

インターネットにつなぎ、「Microsoftアカウントでのサインインに切り替える」を実行すると、マイクロソフトアカウントが必要なアプリ(OneDriveなど)が使用できるようになります。

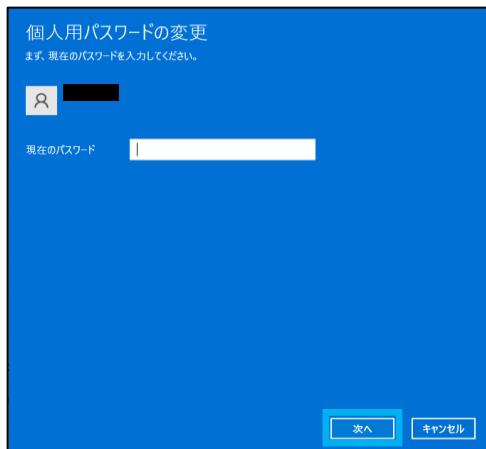
必要な場合は、セットアップ完了後設定して下さい。



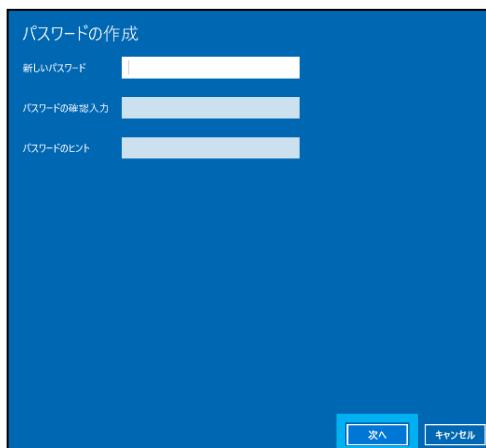
設定メニュー内の左側の「アカウント」をクリックし、右側の「サインイン オプション」をクリックします。



右側の「パスワード」をクリックし、すぐ下に変更と表示されるので、【変更】をクリックします。



設定されている現在のパスワードを入力し、【次へ】をクリックします。



①新しいパスワード、
②もう一度、新しいパスワード
③パスワードのヒント
を入力して「次へ」をクリックします。

新しいPass

次の画面で「完了」をクリックして終了です。

Windows Updateとは？



Windows Updateとはインターネットを通じてWindowsやOffice製品（WordやExcelなど）の発売後に見つかった問題を修正したり、新しい機能を追加する作業のことです。

他にもウイルスが忍び込むセキュリティホール（セキュリティの欠陥）をなくし、悪質な攻撃に負けないように、強化することもWindows Updateでは行われます。

通常はWindows Updateの自動更新が有効になっているので、定期的に更新されるようになっています。とても便利な機能ですが、更新中はパソコンが少々遅くなったり、パソコンの再起動が必要な場合もあり、面倒に感じることもあります。

しかし、Updateをせずに使い続けると、不具合が修正されなかったり、セキュリティの欠陥が残ってしまうなど、とても危険です。

セキュリティを向上させたり、不具合を解消する機能がWindows Updateです。Windows Updateを行わないとトラブルの原因になったり、ウイルスに感染してしまう可能性があります。パソコンを安全に使い続けるために、常に最新のバージョンにしましょう。

Windows11の不具合やセキュリティ上の問題が発見された場合、修正する更新プログラムがインターネット上に公開されます。

この更新プログラムをダウンロードし、Windowsを最新状態に保つのがWindows Updateです。Windows Updateはインターネットにつなぐことにより自動で行われます。

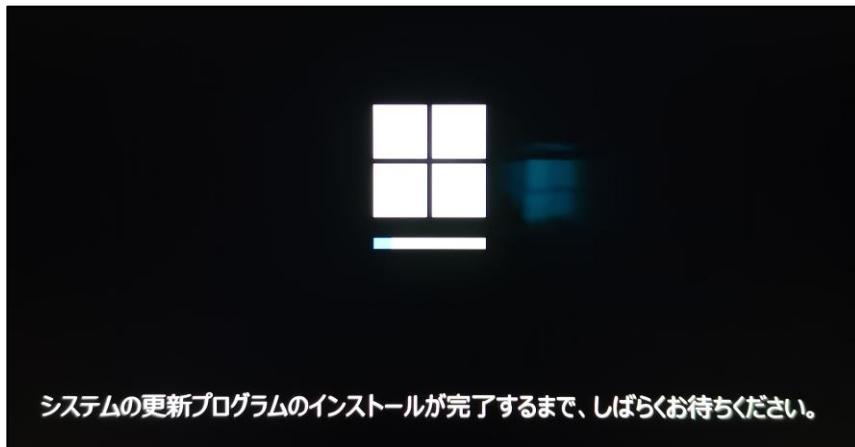
パソコンを購入した際には、メーカーの生産からお手元に届くまでの間に修正プログラムがたまっている為、必ずWindows Updateを行って最新の状態にする必要があります。

注意点

Windows Updateはインターネットに接続することにより自動で行われます。言い換えれば、ネットにつながないとUpdateは行われず、最新の状態に保てません。普段ネットにつながない方も定期的につなぐように心がけてください。アップデートは、電源ケーブルを接続した状態で行ってください。

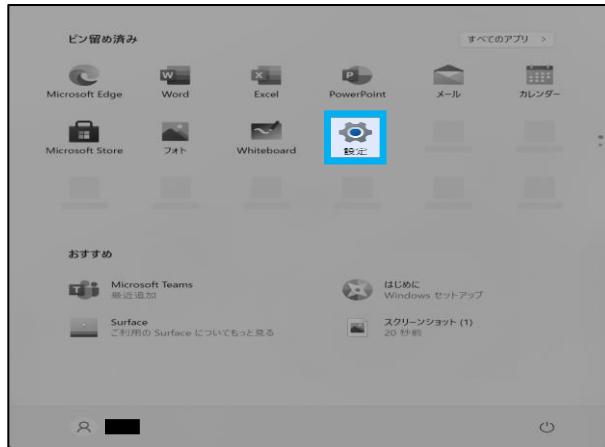


Windows Updateのダウンロード中やインストール中はパソコン全体の動作が遅くなります。異常ではありませんので、そのままご使用ください。



Windows Updateを行った後、Windowsのシャットダウンが上記の様な画面になり、通常以上の時間が（10分～30分以上）かかるときがあります。
それはパソコンがUpdate後の再設定をおこなっていますのでその際は電源を無理やり切らずに自然にシャットダウンされるのを待ってください。

※異常状態が長く続くとき(20分以上画面が変わらない等)は電話サポートにお問い合わせください。

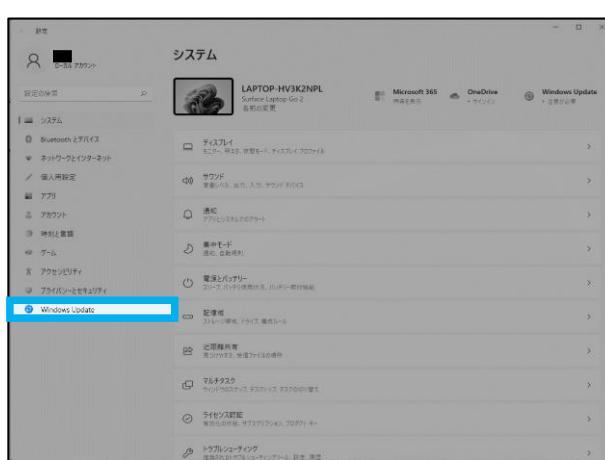


Windows Updateの停止作業について

Windows 11 ではデバイスの安全と新機能追加のため、更新プログラムのダウンロードが自動的に行われます

ただ、講習会参加者の一斉ダウンロードによるネットワーク遅延を抑えるため、更新延期の設定を行います

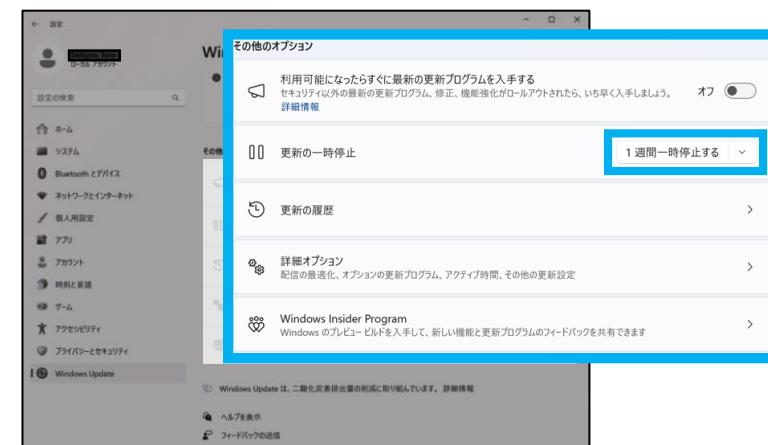
自宅でセットアップする場合はこの作業を行った必要はありません



スタート画面から[設定]をクリックします

Windows の設定が表示されます

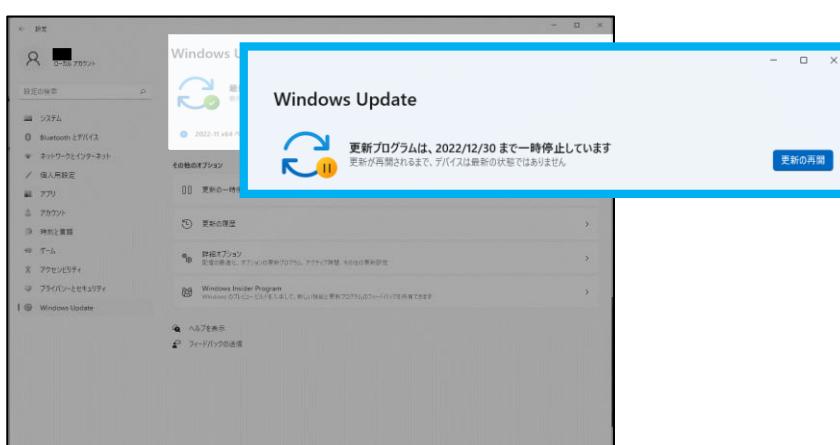
下部の[Windows Update]をクリックします



Windows Update の設定が表示されます

「Windows Update」の項目内にある
更新の一時停止欄の

「1週間一時停止する」を1度だけクリックします



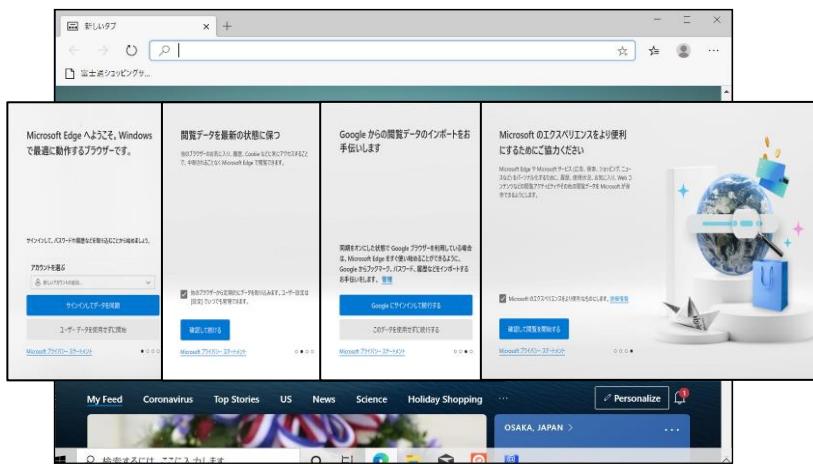
「更新プログラムは、年/月/日まで一時停止しています」と表示されます

右上の[×]をクリックし設定ウィンドウを閉じます

Windows Update の自動ダウンロードと
更新は7日後に再開されます



Edgeのアイコン



Windows11でインターネットを見るときはEdge（エッジ）を使用します。

①ここではインターネット接続がで
きていることの確認の意味も込めて
マイクロソフトエッジを起動します。

スタート画面やデスクトップ画面に
あるEdgeのをクリックします

マイクロソフトエッジが起動しま
す。

（左の画面は一例です。パソコンや
設定により初期画面は異なりま
す。）

※初回起動時は

・ [Microsoft Edgeへようこそ。
Windowsで最適に動作するブラ
ウザです。]は【ユーザーデータを使
用せずに開始】をクリック

・ [閲覧データを最新の状態に保つ]は
【確認して続ける】をクリック

・ [Googleからの閲覧データのイン
ポートをお手伝いします]は【この
データを使用せずに続行する】をク
リック

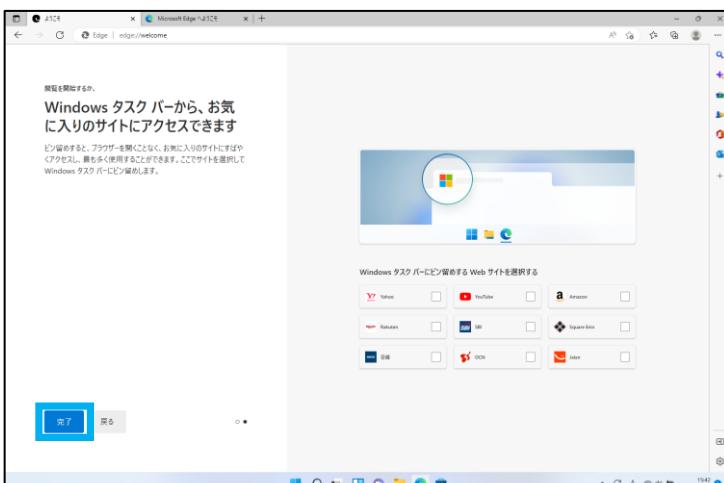
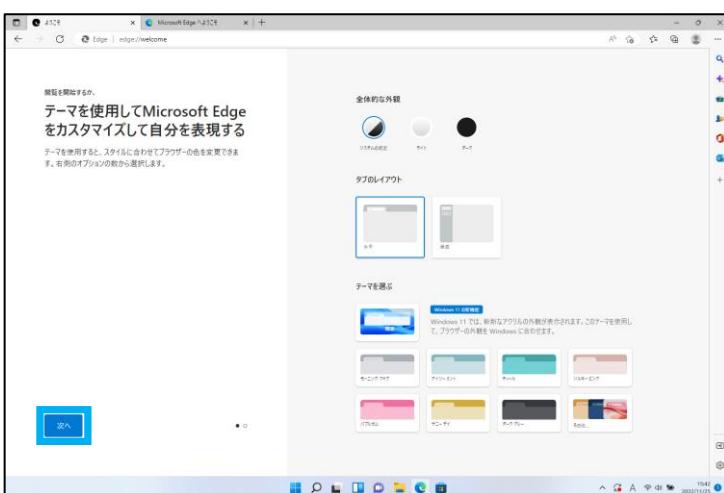
・ [Microsoftのエクスペリエンスを
より便利にするためご協力ください]
は【確認して閲覧を開始する】をク
リック

・ テーマを使用してMicrosoft Edge
をカスタマイズして自分の表現する

任意で右側にあるテーマを選択し、
左下の【次へ】をクリック

・ Windowsタスクバーから、お気に入
りのサイトにアクセスできます。

ご利用されるサイトに任意でチェック
を入れ、左下の【完了】をクリック
します。





検索または Web アドレスを入力

アドレスの領域



②見たいホームページアドレスを
入力します。

たとえば、Googleなら
www.google.co.jp と入力し、Enter を
押します。

一般にホームページアドレスのhttp://は入力
時省略できます。

http://www.google.co.jp →
www.google.co.jp

ヒント💡

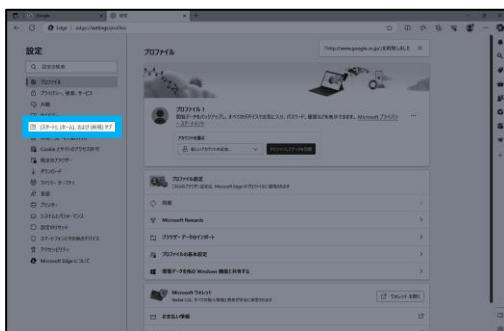
表示されている文字をBackspaceキー等で
削除し、空白にしてから新たにアドレスを打
ち込みます。



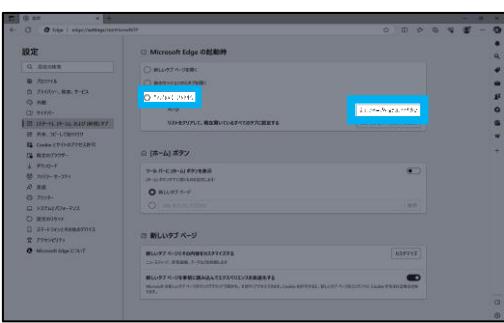
①



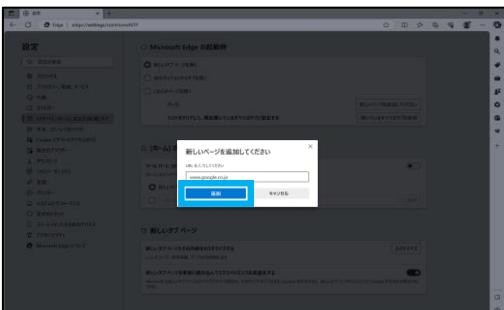
②



③



④



Windows11 でインターネットを見るときは Edge (エッジ) を使用します。

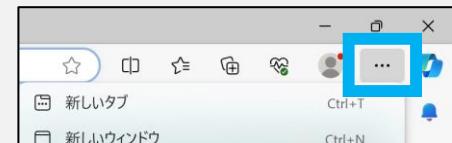
Edgeを起動した時に、最初に表示される Webページは変更できます。

例として、Googleに変更する方法を紹介します。

Edge(エッジ)

【変更手順】 Edgeを起動し、設定画面で設定変更します。

①画面右上の「...」をクリックして出てきたメニューの「設定」を選択してください

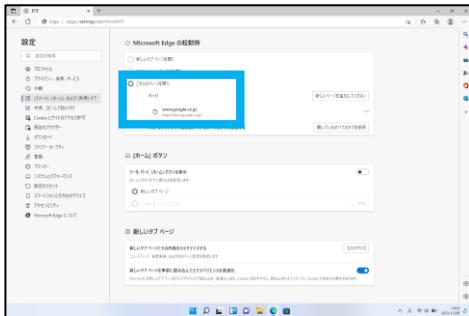


②左列の上から5番目、「スタート」、「ホーム」、および「新規」タブをクリックしてください。

③右側「これらのページを開く」のボタンをクリックしてください。続けて右の「新しいページを追加してください」をクリックしてください

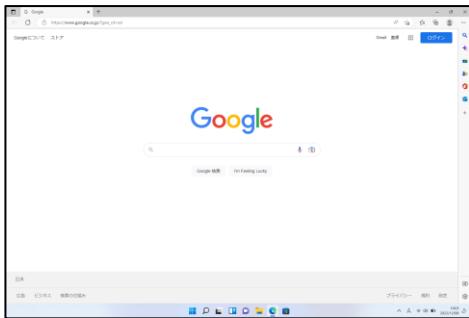
④「URLを入力してください」の欄に GoogleのURL www.google.co.jpを入力し、「追加」ボタンをクリックします。

⑤



⑤Googleのアイコンとともに、入力したGoogleのURL情報等が表示されていることを確認。

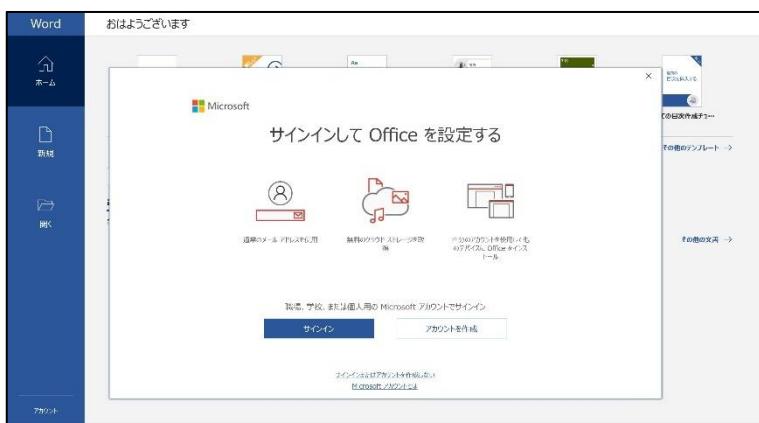
⑥



⑥次回、Edgeを起動するとGoogleが表示されます。複数ページの起動登録もできるので、よく使うページを登録してみましょう。



ライセンス認証には大学もしくは生協から提供されるID・パスワードが必要です



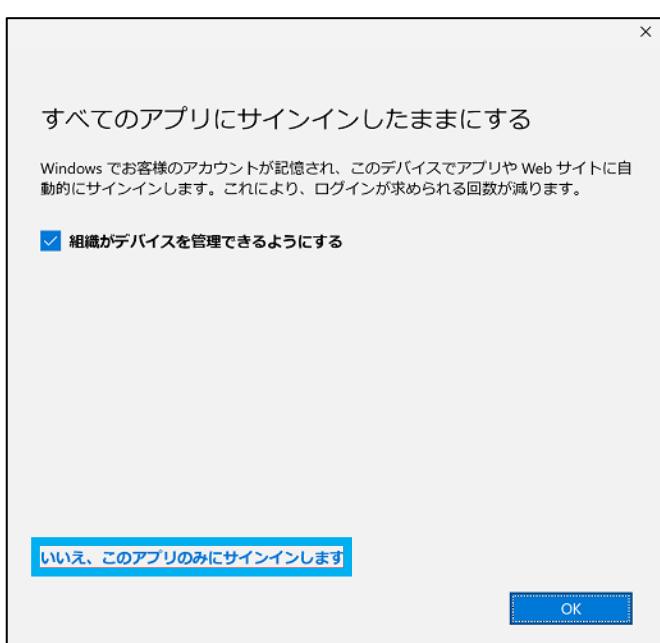
[スタート]メニューからいずれかの Microsoft365 のアプリケーションを起動します

(Word/Excel/PowerPointなど)



アカウントでのサインインを促す画面が表示されます

[サインイン] をクリックします



ID・パスワードを入力し、[次へ]をクリックします

ライセンス認証に用いるID(メールアドレス)

~@~ac.jp もしくは

~@onmicrosoft.com

※大学によっては学内システムによるID・パスワード入力画面が表示されます

しばらくすると[すべてのアプリにサインインしたままにする]という表示が出てきますので、

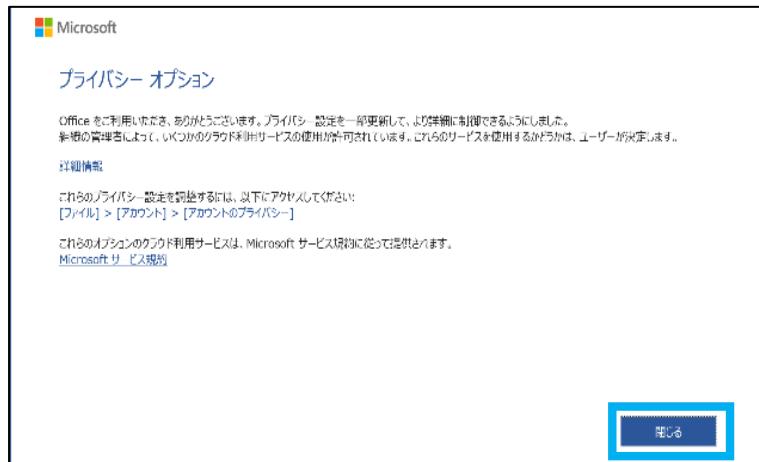
左下の【いいえ、このアプリのみにサインインします】をクリック



ライセンス認証には大学もしくは生協から提供されるID・パスワードが必要です

しばらく待つと「ライセンス契約に同意します」という画面が表示されます

[同意する]をクリックします

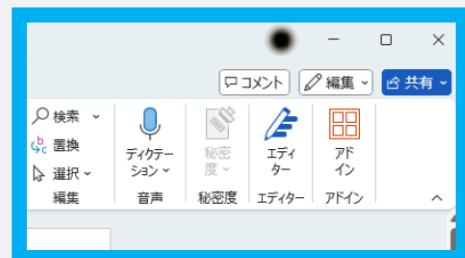


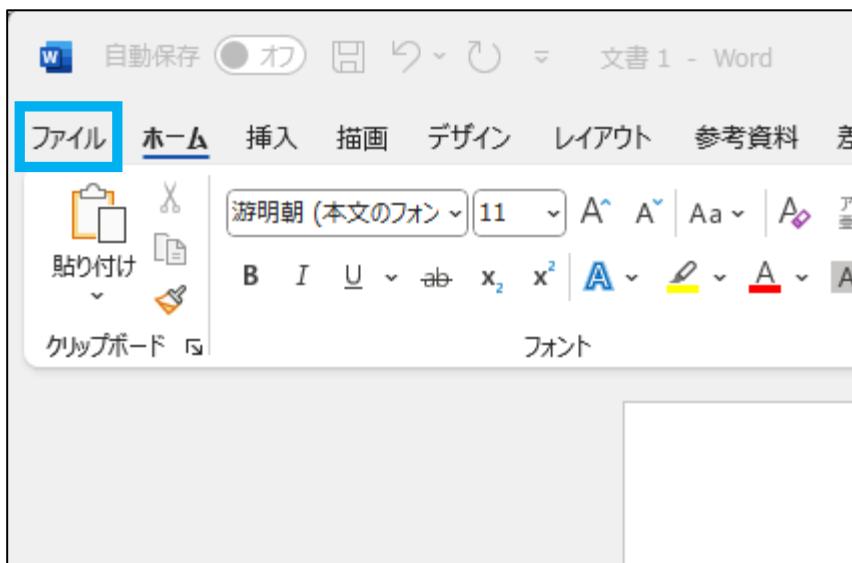
プライバシーの利用に関するメッセージが表示されます

[閉じる]をクリックします



Microsoft365 アプリケーションのウィンドウ右上にサインイン状態を示す情報が表示されます





Microsoft365 アプリケーション利用には定期的な更新プログラムの適用が必要です

安定したネットワークでSurfaceを利用すれば自動的に適用されます

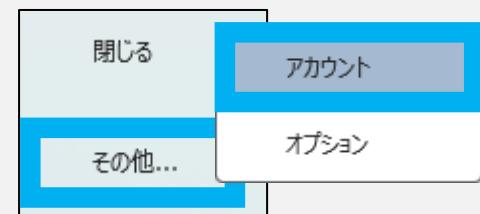
ここでは手動で更新適用する方法を紹介します

はじめに、インターネットへ接続していることをご確認ください。

1. Word などの Microsoft365 アプリを開き、新しいドキュメントを作成します。

2. [ファイル]、[アカウント]の順に移動します。

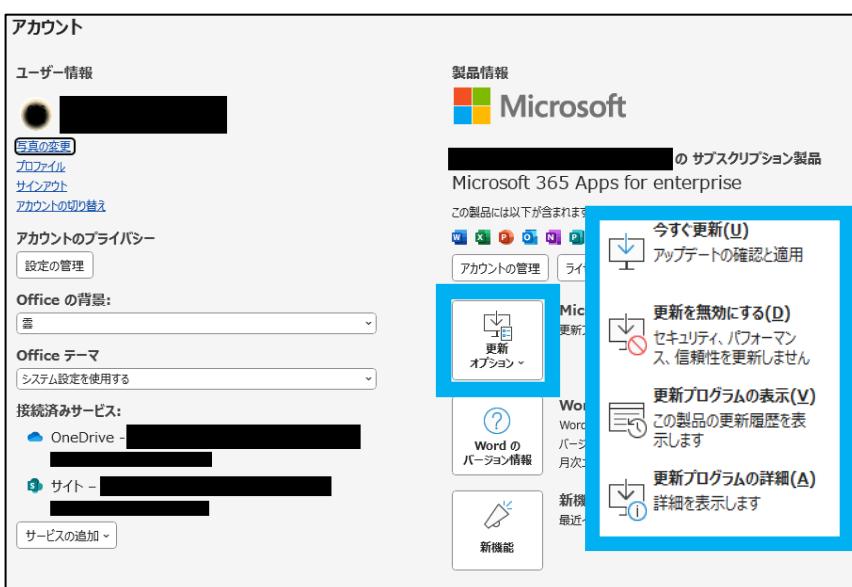
※アプリケーションの表示の大きさにより「その他...」の表示なっている場合があります。その場合は、「その他...」をクリック、「アカウント」をクリックします。



※ Outlook を開いている場合は [Office アカウント]に移動します。

※左図はWordの画面です。

3. [製品情報] で、[更新オプション]、[今すぐ更新] の順に選びます。





1

USB ドライブ (D:) 選択して、リムーバブル ドライブに対して行う操作を選んでください。

2

USB (D:) リムーバブル ドライブに対して行う操作を選んでください。

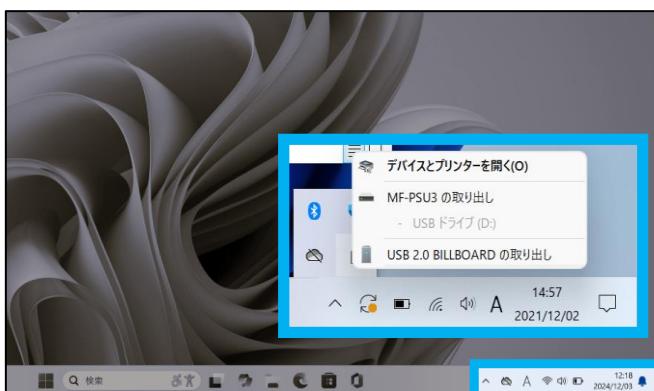
- ストレージ設定の構成 設定
- フォルダーを開いてファイルを表示 エクスプローラー
- 何もない

3

USB ドライブ (D:)

| 名前 | 更新日時 | 種類 | サイズ |
|-----------------------------------|------------------|------------------------|------------|
| Brother_DCP-J914N_Ver1.3 | 2022/12/23 16:11 | Microsoft PowerPoin... | 35,832 KB |
| Brother_DCP-J1200N_Ver1.3 | 2022/12/23 16:11 | Microsoft PowerPoin... | 49,174 KB |
| Dynabook_RZG651(Win11_Pro)_Ver1.0 | 2022/12/23 16:04 | Microsoft PowerPoin... | 168,536 KB |
| EPSON_FW-452A_Ver1.1 | 2022/12/23 17:35 | Microsoft PowerPoin... | 15,473 KB |
| EPSON_FW-M634T_Ver1.1 | 2022/12/23 17:36 | Microsoft PowerPoin... | 67,550 KB |
| Mac初回セットアップマニュアル1220_Ver1.0 | 2022/12/20 17:58 | Microsoft PowerPoin... | 10,828 KB |

USB機器の取り外し



USBメモリはセットアップ講習会で貸与するものです

※USBは【Type-C】のみの搭載※

USBメモリをSurface 右側面の USB ポートに接続します

画面右下のメッセージと音でUSBメモリが認識されたことがわかります



①.デスクトップ画面下部にあるフォルダのアイコンをクリックします。

もしくは、

①.右下のメッセージをクリックします。

②.右上に表示される「フォルダーを開いてファイルを表示」クリックすると、

エクスプローラーのウィンドウが表示されます

ウィンドウ左列から末尾に(D:)と書かれたアイコンをクリックします

名前は異なる場合があり以下は一例です

[USBドライブ(D:)]

[リムーバブルディスク(D:)]

クリックすると、保存されているファイルが確認できます。

デスクトップ右下の[[↑]]アイコンをクリックします

USBメモリのアイコンをクリックし、[～の取り出し]をクリックします

メッセージと音で取り外し可能な状態になったことがわかります

USBメモリを取り外します

パソコンの保存データのバックアップについて簡単に説明します。

バックアップの必要性

パソコンは人が作った機械です。必ずいつかは壊れます。

また、取り扱いや運が悪いと短期間で故障することもあります。

パソコンが故障してしまったときには、保存されていたファイルが壊れたり修理に出した際にデータが「全て消去」される場合が多々あります。

また、うっかりミスで大事なデータを消してしまったり、悪意でデータを消してしまう「コンピュータウイルス」にかかることもあります。

そのような時の為に、大事なデータは定期的に「バックアップ」をして下さい。

バックアップの基本

基本は「パソコンが壊れて自分が苦労して作ったデータが消えてなくなることを防ぐこと」です。原則は「大事なデータは2か所に保存」（パソコンと外部ストレージの2か所に保存が基本）です。

理由は「二つの機械が同時に壊れることはまずない」からです。

バックアップ方法

「バックアップ」は難しいことではありません。上記の基本を参考に、大事なデータをUSBにつないだ外部ストレージや下記の光学ディスクにも保存してください。それだけで完了です。

バックアップの時期

毎月始め等、定期的に計画して行いましょう。

また、大事なレポート作成中は隨時（毎日、毎時、休憩毎）に実施。

バックアップに必要な機器（別途購入が必要）



① 外付けハードディスク (HDD)

最近では、「小型」で「大容量」のUSB接続のHDDが多く販売されています。USBポートに差込むだけで、簡単に使えます。



② USBメモリ

USBメモリも、USBポートに差込むだけで使えます。小型ですので持ち運びにも便利です。HDDより小容量です。



③ CD-RやDVD-Rなどの光学ディスク

CD-RやDVD-Rなどのディスクに保存も出来ます。ディスクなどメディア自体は安価です。

アップデート

ソフトウェアの小規模な更新、改善、修正、機能追加などを呼びます。大規模な更新の場合はアップグレードと呼びます。

アプリケーションソフト、アプリ

文書の作成、数値計算など、ある特定の目的のために設計されたソフトウェアのことと呼びます。

インストール

パソコンでアプリケーションソフト（Wordやメールソフト等）が使用できるように設定する為の作業です。

シリアル番号

ハードウェアのメーカー側で所有者の管理や偽装を防止するなどの目的で製品ごとに割り当てた番号。修理に出したり、ユーザー登録時に必要になります。

スタート画面

パソコンのスタートボタンクリック後に表示される基本となる操作画面です。

ソフトウェア

OSとアプリケーションソフト等のプログラムの総称をソフトウェアと呼びます。

例：OS（Windows、Mac等）

アプリケーションソフト（Word、Edge、ウイルスバスター等）

ダウンロード

インターネット上からファイル（文章、音楽、画像等）をパソコン上に保存する作業です。

バックアップ

パソコンの中のデータをUSBメモリや外付けHDD等にコピーを行う作業です。

パソコンの故障や操作ミスによってデータが消えてしまった時の為に行います。

バックアップ例：文書、写真、音楽、メール、インターネットのお気に入り等

ハードウェア

パソコンを構成している部品や周辺機器等の総称をハードウェアと呼びます。

例：HDD、メモリ、キーボード、マウス、ディスプレイ、プリンタ、iPod等

プロダクトキー

ソフトウェアのメーカー側でユーザ管理やソフトウェアの不正コピー防止のために発行している番号。ソフトウェアのインストール時やユーザー登録時に使用する。

メモリ

データの保存場所であるHDDから、データを処理するCPUに渡すデータを一時的に置いておくための部品です。

メモリの容量が大きいと一度にたくさんのアプリケーションソフト（Word、ブラウザ等）を使用できたり、動作がスムーズになります。

ライセンス

ソフトウェアを購入した際にソフトウェアを使用する権利のこと。

リカバリ (初期化)

パソコンを購入時の状態に戻す作業です。

パソコンが起動しなくなった際などに行います。

ログイン/ログオフ

ログインはパソコンを利用したり、ホームページ内のサービスを利用する際にIDとパスワードを入力して認証をする作業です。

ログオフはパソコンやサービスの利用を終了する際に行う作業です。

CPU (シーピーユー)

パソコン全体の処理・計算を行う、頭脳と言える部品です。

CPUが良いものであるほど、コンピュータは複雑で多くの処理を早く安定して行えます。

HDD (ハードディスク)

パソコンの中でデータの読み書きを行う装置になります。

容量が多くは多いほどたくさんのデータを書き込むことができます。

LAN

ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるコンピュータや通信機器、プリンタなどを接続し、データをやり取りするネットワークです。

OS (オペレーティングシステム)

WindowsやMac等の主にパソコンのソフトウェアやハードウェアを管理する機能になります。

SSD (エスエスディ)

HDD同様データの読み書きを行う装置になります。

SSDはHDDの機構部分をなくし、電子部品で構成された装置でHDDに比べ高速で消費電力が少ない特徴があります。

Wi-Fi (ワイファイ)

無線LANの規格のひとつ。

最近ではWi-Fi=無線LANといった意味で使われることが多いようです。

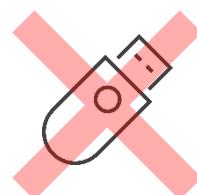
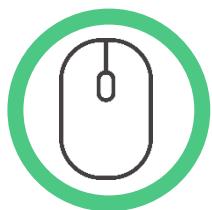
32bitと64bit

まずbit(ビット)とはパソコンで扱う情報量の最小単位です。
bitの単位が大きい方がよりCPUで多くの情報量を処理することができます。
※古いWindowsでは「32bit(ビット)」を使用していましたが、最近のパソコンは「64bit(ビット)」に切り替わりました、その為、以下の注意点があります。

互換性の違い

一般に32 bit(ビット)用アプリケーションと64 bit(ビット)アプリケーションは互換性がありません。
古いアプリケーションソフトには32 bit(ビット)のみ対応の場合があり、
Windows対応と記載
されていても最近の64 bit(ビット) Windowsでは動作しないアプリケーションソフトがあります。
古いアプリケーションソフトをインストールする場合は64 bit(ビット)に対応しているか確認する必要があります。

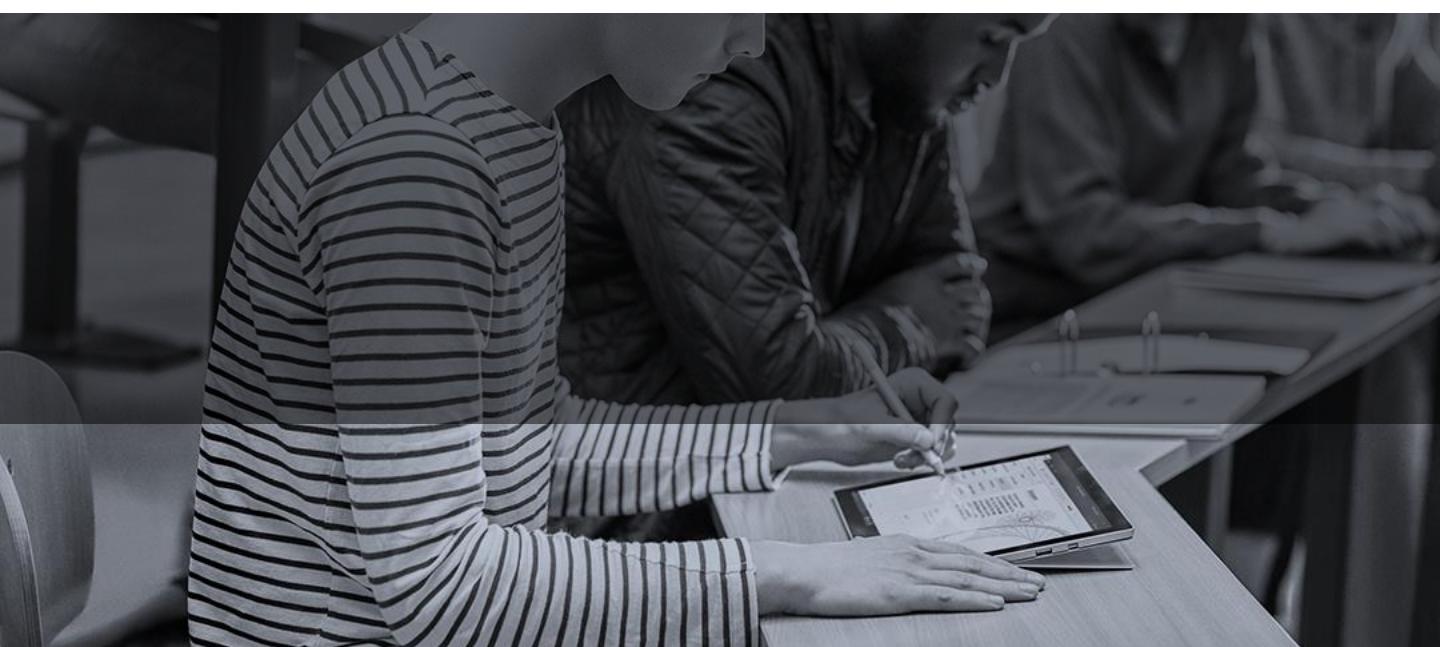
セットアップが終わったら...

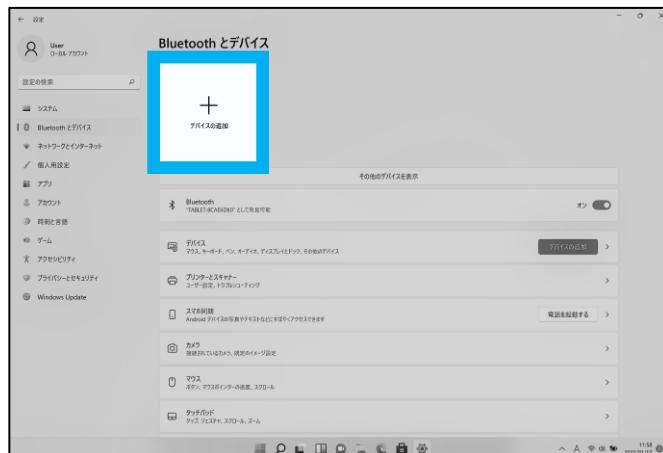
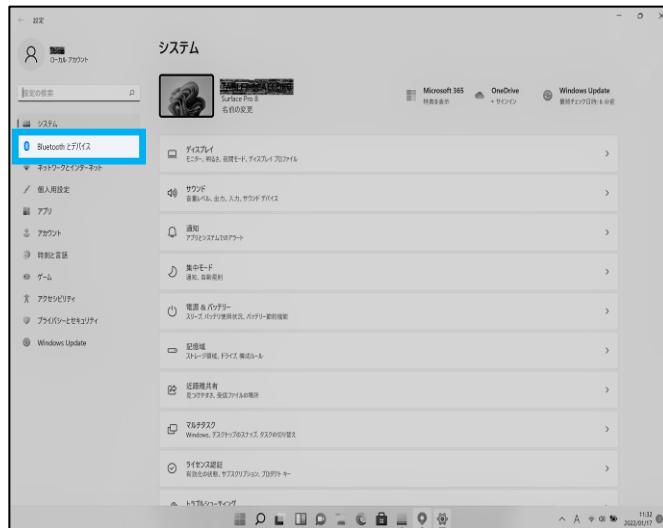


マウスはパソコンに電源が入っていても自由に抜き差しできますが、USBメモリのようなデータを保存しておく機器の場合は、「USB機器を接続する」の手順を踏んで外さないと、故障の原因となります。



Surfaceを活用するために





以下の手順は手動でSlim Pen2をペアリングする方法です。

Surface Slim Pen2はBluetoothのペアリングなしでも書き込み可能です

ペアリングするとトップボタンによる機能ショートカットが有効になります

デスクトップ中央の「スタート」メニューから⚙️アイコン[設定]をクリックします

[Bluetoothとデバイス]をクリックします

[デバイスの追加]をクリックします

デバイス追加の画面が表示されます
[Bluetooth]を選択します



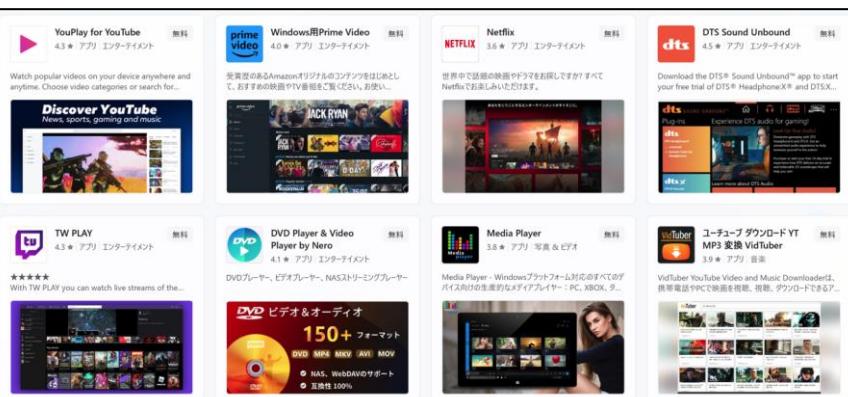
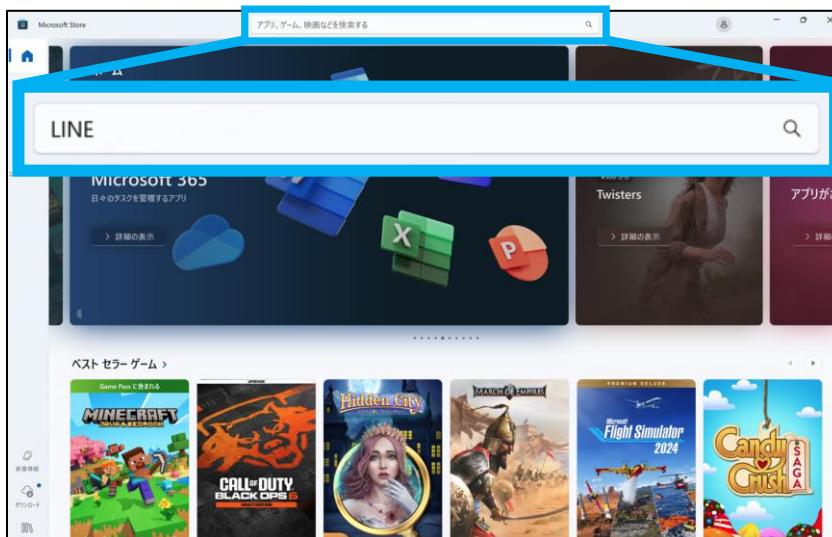
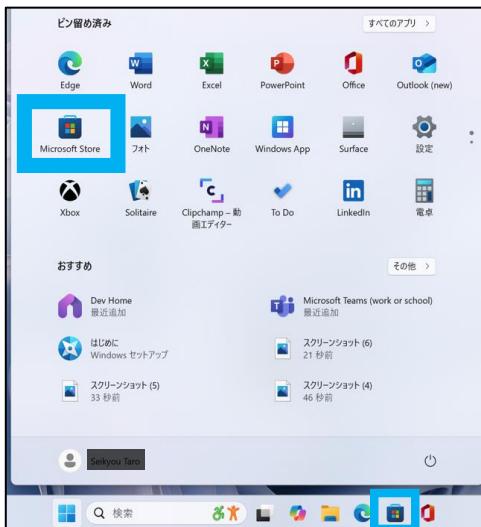
Surface Slim Pen2の
トップボタンを5~7秒長
押しします
サイドボタン上部のLED
が点灯すると、ペンが検
出可能になります

Bluetooth デバイスの一覧に

「Surface Slim Pen2」が現れたら、選
択します

数秒待つと、ペアリングが完了します

[完了]をクリックします



「Microsoft Store」では無料/有料のアプリをダウンロードして利用できます

LINE・X(旧Twitter)・InstagramなどのアプリをSurfaceにインストールして活用しましょう



※ダウンロードにMicrosoftアカウントが必要な場合があります

※ 「Microsoft Store」上でのX(旧Twitter)の検索、表記は「Twitter」のままで



スタートメニュー内 もしくはタスパーのアイコンをクリックして起動します

上部の【検索】ボタンをクリックすると

検索窓が表示されるのでそこにキーワードを入力してアプリを探すことができます

[入手]もしくは[インストール]をクリックするとインストールが開始されます

インストールしたアプリはスタートメニューに表示されます

※インストールの前にアプリのディベロッパー(開発者)を確認しましょう

一例としてLINEのディベロッパーは「LINE Corporation」ですので公式アプリです

「Youtube」と検索した結果の画面です

表示されている一部が非公式のディベロッパーのアプリです

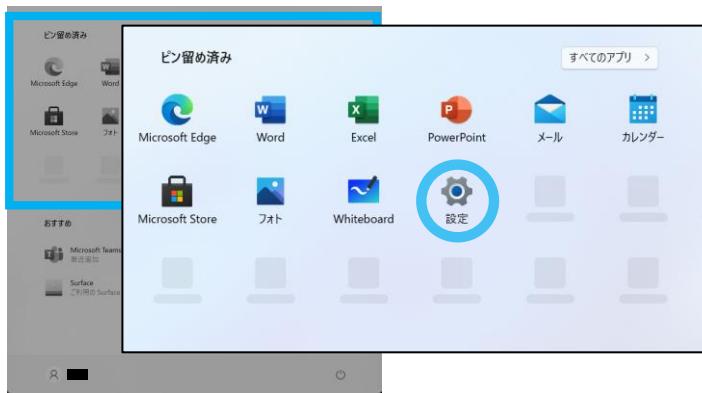
・別のアプリをインストールさせようとする

・インターネットブラウザの初期ページを強制的に書換える

・個人情報にアクセスしようとする

などのリスクを伴います

自己責任のもとで利用してください



Windows Hello を利用すると、顔認証で
パスワード入力なしにサインインが可能です

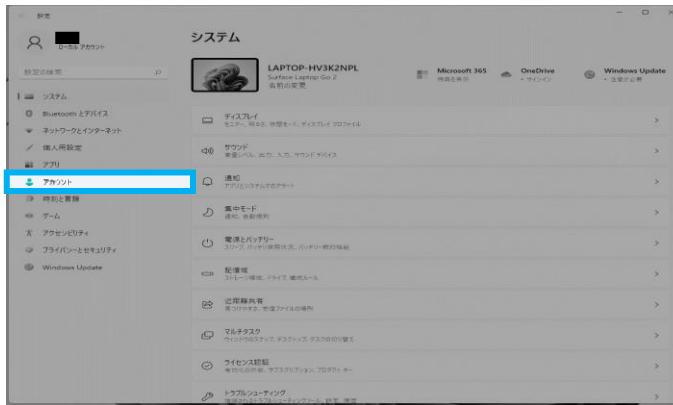
設定のためには

・パスワード

・PIN

の2種を設定しておく必要があります

デスクトップ下の「スタート」メニューからアイコン[設定]をクリックします



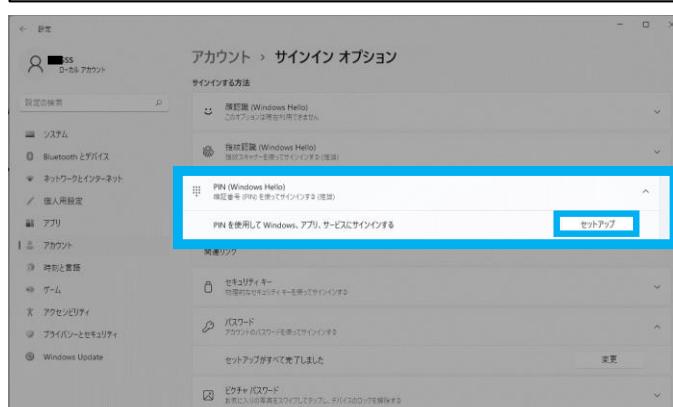
「Windows の設定」が表示されます

[アカウント]をクリックします



アカウントの画面が表示されます

右列の[サインイン オプション]を選択します



サインイン オプションの項目が表示されます

「PIN」の項目にある[セットアップ]ボタンをクリックします

※初期セットアップでパスワード設定していない場合はPIN追加の前に

[パスワード]の項目からパスワードを設定する必要があります

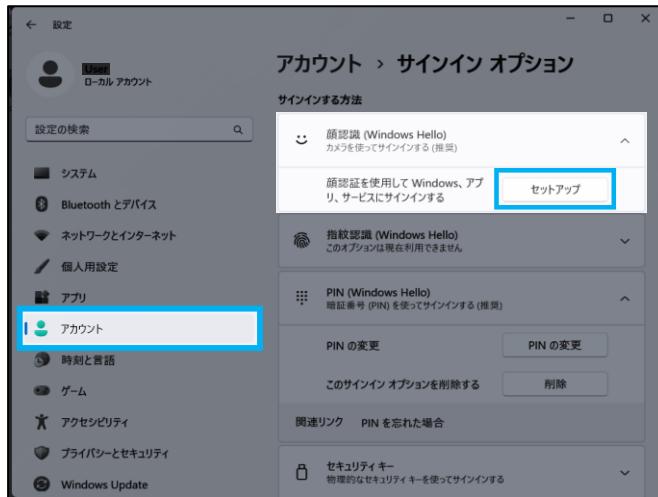
まずアカウントのパスワードを入力し、[OK]をクリックします



次にPINを設定します

4桁以上の数字を入力してください

2つのボックスに希望するPINを入力し、[OK]をクリックします



顔認証をセットアップします

[顔認証(Windows Hello)]をクリックし、[セットアップ]のボタンをクリックします



Windows Hello の設定ウィンドウが開きます

[開始する]をクリックします



ユーザー確認のウィンドウが表示されます

設定したPINを入力します

カメラが起動するので顔を登録します

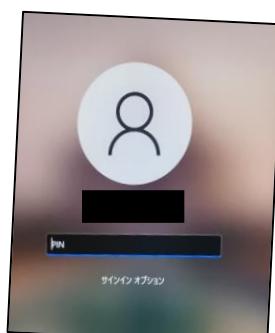
ディスプレイ上部のカメラを見続けてください

セットアップが完了します

[閉じる]ボタンをクリックします

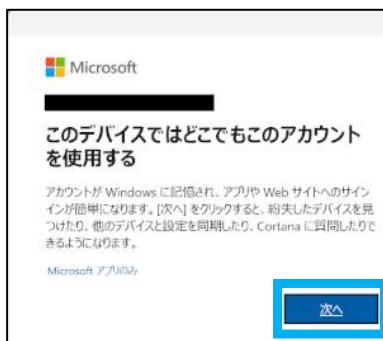
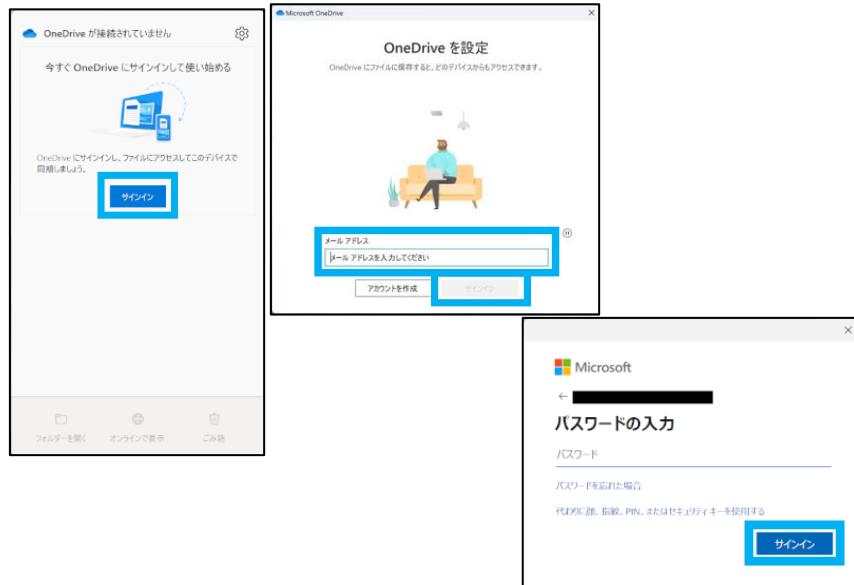
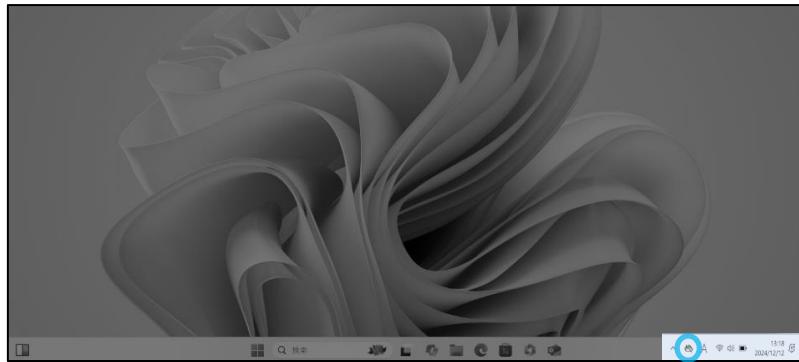
メガネあり・なしなど複数登録可能です

必要に応じて同様の作業を行ってください



起動・スリープ解除時に顔認証でサインインできるようになります

認識できない場合はPINもしくはパスワードでサインインしてください



※OneDrive はクラウドを使ったストレージサービスです

Office ライセンスのIDもしくはMicrosoft アカウントを設定して利用します

[●]雲のアイコンをクリックします。

デスクトップ右下にの[●]がなければ、右下にある[▲]をクリックすると、雲のアイコンが表示されます。

OneDrive の設定ウィンドウが表示されます

アカウントのメールアドレス入力後、【サインイン】をクリックし、

次はパスワードを入力し後、[サインイン]をクリックします

[このデバイスではどこでもこのアカウントを使用する]

【次へ】をクリックします

[OneDriveフォルダー]の表示がされたら右下の【次へ】をクリック

※保存場所を変更する場合は左下の[場所の変更]をクリックし設定をする



※OneDriveはクラウドを使ったストレージサービスです

OfficeライセンスのIDもしくはMicrosoftアカウントを設定して利用します

[このPCのフォルダーをバックアップする]の表示がされたら

・ドキュメント

・写真

・デスクトップ

が選択されているので、右下の【バックアップを開始】をクリックします

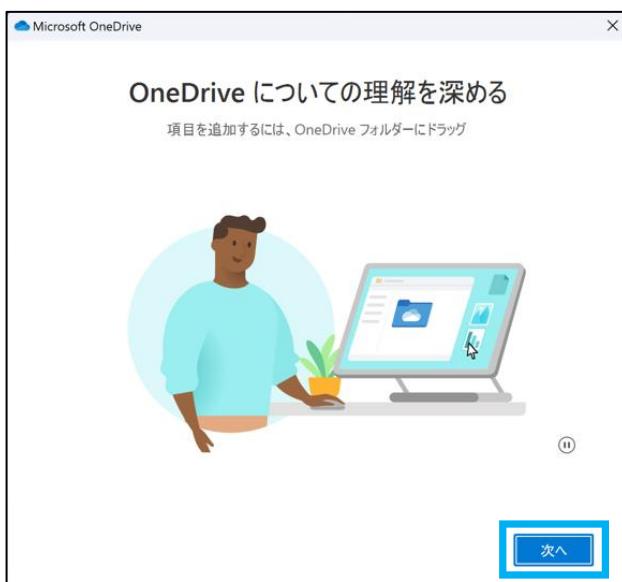


※バックアップするフォルダーから外す場合は各項目の右にあるスイッチを切り替えます。

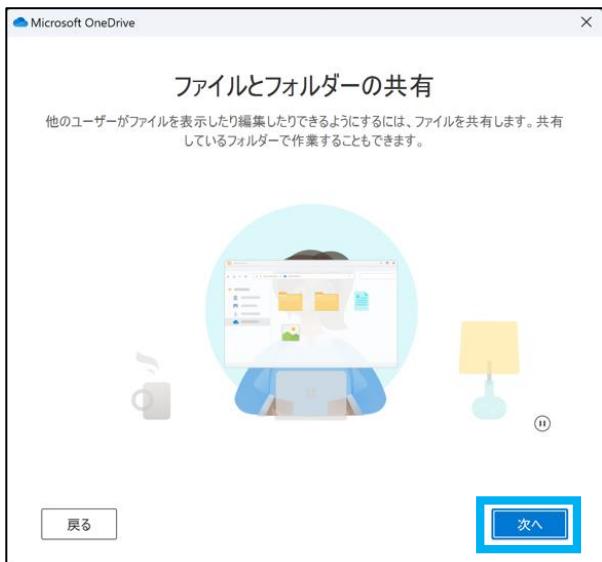
- ・ オン
- ・ オフ

[OneDriveを最大限に活用する]の表示がされたら

【後で】をクリックします



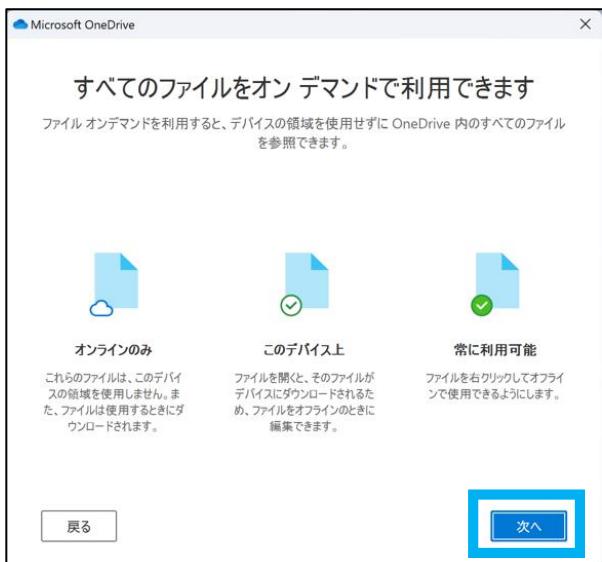
[OneDriveについて理解を深める]の表示がされたら【次へ】をクリックします



※OneDrive はクラウドを使ったストレージサービスです

Office ライセンスのIDもしくはMicrosoft アカウントを設定して利用します

[ファイルとフォルダーの共有]の表示されたら
[次へ]をクリックします



[すべてのファイルをオン デマンドで利用できます]の表示がされたら、[次へ]をクリックします

OneDrive に保存したファイルは

- Surface 以外のPC
 - iPhone・Android スマートフォン
 - Chrome/Safari/FireFoxなどのブラウザ
- などからダウンロード可能です

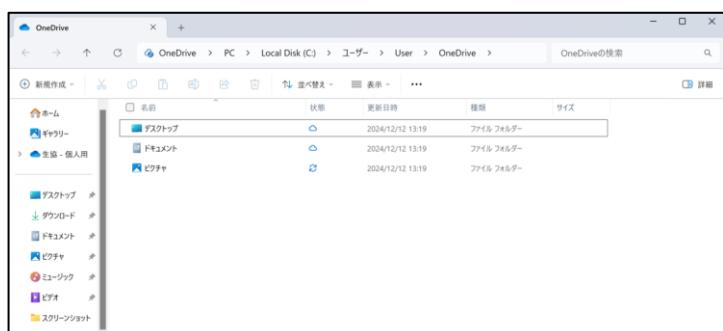
万が一のトラブルでSurface が起動不能になった場合に備え、大事なデータは OneDriveフォルダに保存するようにしましょう



[モバイルアプリを手に入れる] が表示されたら【後で】をクリック



[OneDrive の準備が完了しました] の表示がされたら、【OneDrive フォルダーを開く】をクリックすると OneDrive フォルダーが表示されます



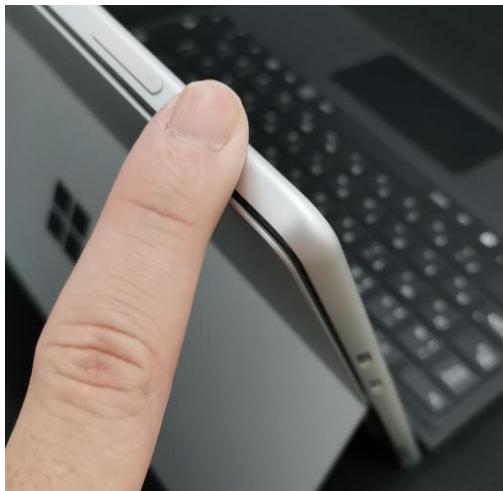
OneDrive に保存したファイルは

- Surface 以外のPC
 - iPhone・Android スマートフォン
 - Chrome/Safari/FireFoxなどのブラウザ
- などからダウンロード可能です

万が一のトラブルで Surface が起動不能になった場合に備え、大事なデータは OneDrive フォルダに保存するようにしましょう



シャットダウンできないときは



通常のシャットダウン方法

方法1

[スタート] メニューを開き

[電源] > [シャットダウン]を選択します

方法2

電源ボタンを長押し (約 3 秒)

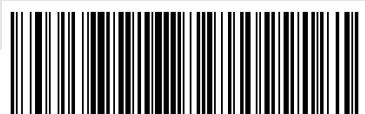
[スライドして PC をシャットダウンします] 画面が表示されたら下にスライドします

動作が不安定、フリーズした場合はシャットダウンできない場合があります

やむを得ない場合は以下の方法でシャットダウンしてください

方法1 電源15秒長押し

Surface が再起動するまで電源ボタンを長押しし続け、Windows ロゴ画面が表示されたら (約 15 秒) 電源ボタンを離します。



ucf2024PCSET001